

ETC/ETC2.0 車載器を使う



- ETC 車載器または ETC2.0 車載器について詳しくは、別売の ETC 車載器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機に別売の ETC 車載器（ナビ連動タイプ）または ETC2.0 車載器を接続すると、ETC 機能についての音声案内（料金案内、有効期限など）は、本機から音声案内をします。

ETC 情報について

ETC (Electronic Toll Collection System) は、高速道路など有料道路の料金所を通過するときに、料金の支払いを自動化し、料金所を通過する際に発生する渋滞を緩和するためのシステムです。本機は、別売の ETC 車載器（ナビ連動タイプ）を接続することができます。

ETC2.0 情報について

別売の ETC2.0 車載器を本機に接続すると、ETC 機能と ITS スポットから送られてくる VICS 情報提供を受けることができます。



- 本機はサービスエリアや道の駅での ITS スポットによるインターネットサービス（情報配信サービス）には対応していません。また決済サービスにも対応していません。
- 走行中、交通状況や走行レーンによって、「ETC2.0」サービスの情報案内を繰り返す場合があります。

ITS スポットとは

高速道路を中心に設置された路側無線装置で、ETC2.0 車載器との 5.8GHz 帯を利用した双方向通信により前方状況、合流支援、前方障害物情報などをリアルタイムでお知らせする安全運転支援情報を提供します。利用エリアについては、下記ホームページでご確認ください。

国土交通省 国土技術政策総合研究所
http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/index.html
 道路管理者からのお知らせとお願い（プローブ情報の利用及び取り扱いについて）
http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/oshirase.html

- ITS スポットの案内内容は、変更される場合があります。

ETC 予告アンテナについて

ETC 料金所の手前や SA・PA からの合流後に ETC 予告アンテナが設定されている場所を通過するときに、ETC カードの挿し忘れや挿し込み不良、ETC カードの有効期限切れなどの場合に、音声案内と表示で「ETC がご利用できません」または「ETC カードを確認してください」と通知されます。その場合は「一般」または「ETC/一般」と表示されたレーンをご使用ください。

- 運転中に ETC カードの挿入操作は危険です。おやめください。
- ETC カードが入っている場合、予告アンテナ通過時にピッと音が鳴ることがありますが故障ではありません。

アップリンクとは

アップリンクとはプローブ情報（走行位置の履歴などの情報）を ITS スポットに送信する機能です。送信したデータはより精度の高い道路交通情報の生成に活用されます。走行開始、終了地点など、個人情報に関わる情報は送信しません。アップリンクしないように設定することができます。アップリンクについては ETC2.0 車載器の取扱説明書もご覧ください。

VICS 機能を利用する

ITS スポットから VICS 情報を受信することにより、次の機能を利用できます。

- 地図画面上に、VICS 情報が表示されます。案内情報を受信すると、割り込み表示されます。音声情報がある場合は、音声案内が出力されます。対応している情報の種類は、次のとおりです。
 - 優先情報
 - 安全運転支援情報、緊急メッセージ情報、注意警戒情報
 - 一般情報
 - 電子標識情報、多目的情報、長文読み上げ情報
- 規制を考慮したルートが探索されます。
- 渋滞のある箇所に近いなら、最適時間を考慮して、自動的に渋滞箇所を回避するルートが探索されます。

ETC カードの状態表示について

別売の ETC 車載器（ナビ連動タイプ）または ETC2.0 車載器に挿入されている ETC カードの状態をお知らせします。



状態表示アイコン

白色：ETC カードが挿入されている
 灰色：ETC カードが挿入されていない
 赤色：
 カードの有効期限切れ、ETC カード
 エラーや ETC 車載器のエラーなど使
 用できない状態

ETC/ETC2.0 の設定をする

1 【MENU】を押して [設定 / 情報] にタッチする



2 【ナビ】にタッチする



3 「ETC」の各項目を設定する

設定できる項目は以下のとおりです。

*：お買い上げ時の設定です。

項目	設定	説明
ETC 音声の出力	ON*/OFF	対応 ETC 車載器を接続しているときに、ETC 音声を出力するかどうかを設定します。
ETC 料金の表示	ON*/OFF	対応 ETC 車載器を接続しているときに、ETC 通行料金を地図画面に表示するかどうかを設定します。
ETC カード入れ忘れ警告	ON*/OFF	エンジンスイッチをオンにしたときに ETC カードの入れ忘れ警告を出力するかしないかを設定します。
表示割り込み時間	しない / 5 秒 * / 10 秒 / 15 秒 / 30 秒	ETC の警告表示をしない、または表示時間を設定します。
ETC2.0 受信音	ON*/OFF	ETC2.0 車載器で情報を受信したときに音でお知らせするかしないかを設定します。
ETC2.0 図形情報割り込み	ON*/OFF	ETC2.0 車載器で受信した図形情報の割り込み表示をするかしないかを設定します。
ETC2.0 文字情報割り込み	ON*/OFF*	ETC2.0 車載器で受信した文字情報の割り込み表示をするかしないかを設定します。
ETC2.0 音声自動再生	ON*/OFF	ETC2.0 車載器で受信した音声を自動再生するかしないかを設定します。
ETC2.0 アップリンク	ON*/OFF	ETC2.0 アップリンク機能を使用するかしないかを設定します。

ETC 履歴 / 車載器情報を見る

本機で使用した ETC の利用履歴や登録情報を確認できます。

- 1 【MENU】を押して [設定 / 情報] にタッチする
- 2 【情報】にタッチする



- 3 【ETC】にタッチする



ETC履歴情報	車載器情報	戻る
2018/09/16 09:30	¥810	豊→豊一沢
2018/05/26 11:59	¥720	徳島縣→徳島縣
2017/08/17 18:18	¥510	入野→徳島縣分館
2017/08/17 15:12	¥720	徳島縣→徳島縣
2016/04/01 15:22	¥930	東北道徳島縣→徳島縣外
2016/04/01 14:55	¥2,830	宇都宮上三川→徳島本線 (上)

【車載器情報】：

車載器の情報を表示します。

車載器情報	戻る
車載器管理番号	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
型式登録番号	XXXXXXXXXX
型式名	XXXXXXXXXX
カード有効期限	2021年9月



- ETC の利用履歴は、100 件まで表示されます。
- 履歴情報は、ETC カード挿入時のみ表示されます。

別売のドライブレコーダー DRH-189N の操作・設定をする

別売のドライブレコーダー（ナビ連動タイプ：DRH-189N）の接続が必要です。ドライブレコーダー本体の動作、動画ファイル数など詳細については、別売のドライブレコーダー（ナビ連動タイプ：DRH-189N）の取扱説明書をご覧ください。



- 設定 / 情報メニューの [ドライブレコーダー] にタッチすると、ドライブレコーダーの録画が一時停止し、オーディオ機能もオフになります。その後、[現在地] を押してドライブレコーダー画面を終了すると録画を再開し、オーディオ機能がオンになります。

録画について

● 動画の種類

常時録画	車のエンジンスイッチをアクセサリ、またはオンに入れている間、ドライブレコーダーは常に録画を行います。*1*2
手動録画	本機のオプションボタンを長押しして録画を開始します。（手動録画した動画は、古い順に上書きします。詳細についてはドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。）
駐車時録画	車のエンジンスイッチをオフに入れた後、約 30 分間、録画を継続します。*2*3*4
駐車時録画プラス	車のエンジンスイッチをオフに入れている間に衝撃検知すると、約 1 分間（検知して約 4 秒後から約 1 分間）録画を行います。（駐車時録画プラスの動画は古い順に上書きします。）*3

*1: ドライブレコーダーの再生中や、ドライブレコーダーの設定などをしているときは録画が停止します。（録画中 / 録画停止中は情報バーに表示されるインジケータでご確認ください。）

*2: 録画を継続するため、ドライブレコーダーに挿入している microSD カードの空き容量が少なくなると、動画ファイルを録画日の古い順に上書きします。（急加速 / 急減速を検知した記録がある場合は上書きされません。ただし、空き容量が少ない状態で急加速 / 急減速を新たに検知した場合は、

古い順に上書きする場合があります。）

*3: 車両のバッテリー状態および検知頻度に応じて、エンジン始動に支障がないように安全機能が働き、録画を停止する場合があります。

*4: 設定モードなど常時録画を停止している状態でエンジンスイッチをオフにした場合、駐車時録画をオンに設定していても駐車時録画が開始されません。設定モードなどを終了後、エンジンスイッチをオフにしてください。

- ドライブレコーダーで静止画撮影することができます。
- 録画された動画 / 静止画はドライブレコーダーに挿入された microSD カードに保存します。なお、動画は高画質モードで約 39 秒、標準モードで約 52 秒ずつを 1 ファイルに保存します。

録画の状態表示について

情報バーにインジケータが表示されます。

: 常時録画中 (緑)

: 手動録画中 (赤)

: 録画停止中

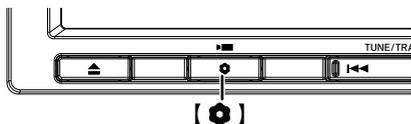
常時録画中の場合 (例)



インジケータ

手動録画する

1 オプションボタンを長押しする



手動録画が開始されます。初期設定では、約1分後に自動停止されます。

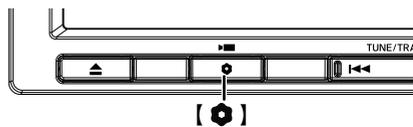


- 手動録画を途中で停止するには、再度、オプションボタンを長押ししてください。

ドライブレコーダーで静止画撮影する

あらかじめ、オプションボタンに「静止画撮影」(ドライブレコーダー静止画撮影)を設定しておく必要があります。(→ P.116)

1 オプションボタンを押す



- 連続してオプションボタンを押すと静止画撮影ができないことがあります。

録画した動画・静止画を再生する

- 1 【MENU】を押して【設定 / 情報】にタッチする
- 2 【情報】にタッチして、【ドライブレコーダー】にタッチする



・ドライブレコーダーにmicroSDカードを挿入していないときは、ドライブレコーダーのアイコンがグレーアウト表示（タッチできない状態）になります。

- 3 【再生】にタッチする



- 4 再生する動画または静止画を選んでタッチする

リストは日付が新しい順に表示されます。



：手動録画ファイル



：急加速 / 急減速情報のあるファイル



：合流地点情報のあるファイル



：駐車時録画プラスのファイル

【動画】

microSD カードに録画されているすべての動画を表示します。再生したいファイルにタッチします。

【静止画】

microSD カードに録画されているすべての静止画を表示します。表示したいファイルにタッチします。

【保存フォルダ】

【動画】から保存フォルダに移動 (→ P.164) したファイルを表示します。再生したいファイルにタッチします。

【全表示】

すべての録画ファイルを表示します。

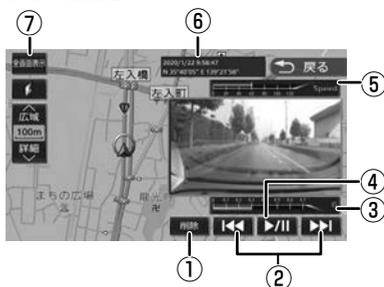
【手動録画】

手動録画ファイルのみ表示します。

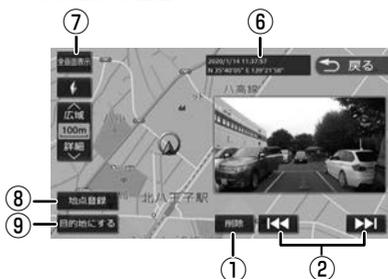
- 5 【再生】にタッチする



動画再生画面



静止画表示画面



録画した動画・静止画を削除する

全て削除する

1 全削除する再生リストを表示する



2 [全削除] にタッチして、[はい] にタッチする



- ファイル全削除中に他の画面に移動した場合は作業を中断します。

一つ選んで削除する

1 削除したい動画または静止画を再生する



2 再生画面で [削除] にタッチして、[はい] にタッチする



- ① ファイルを削除します。
- ② 押すと前 / 次のファイルを再生します。
(動画終了後は、自動で次のファイルが再生されます。)
- ③ 長押しすると早戻し / 早送りをします。
- ④ 録画時の加速 / 減速レベルを表示します。
表示更新は約 1 秒間に 1 回のため、実際の車の加速 / 減速レベルとは異なる場合があります。
- ⑤ 再生 / 一時停止します。
- ⑥ 録画時の走行速度
- ⑦ 録音 / 撮影時の日時 / 位置情報
- ⑧ タッチするとドライブレコーダーの映像を全画面表示します。
- ⑨ 静止画を撮影した地点を登録することができます。
- ⑩ 静止画を撮影した地点を目的地に設定することができます。

■ 動画再生画面 / 静止画再生画面について

- 表示される走行速度や加速 / 減速レベルは目安です。
- GPS などの情報が記録できなかった場合、映像が全画面で表示されたり、各情報 (加速 / 減速のレベルなど) や [地点登録]、[目的地] ボタンが非表示になることがあります。
- 次の映像に自動遷移する際、一度黒画面を表示します。
- ドライブレコーダー以外のファイルが microSD カードに入っていると正常に動作しない可能性があります。

保存フォルダへ移動する

上書きされたくない動画ファイルを、保存フォルダに移動することができます。



- 保存フォルダへ移動できるのは動画のみです。
- 保存フォルダへ移動した動画は、上書きされなくなります。
- 保存フォルダには最大 20 ファイルまで移動できます。

- 1 【MENU】を押して[設定/情報]にタッチする
- 2 [情報]にタッチして、[ドライブレコーダー]にタッチする



- 3 [再生]にタッチする



- 4 リストから移動したい動画を選んでタッチする



- 5 [保存]にタッチして、[はい]にタッチする



ドライブレコーダーの設定をする

ドライブレコーダーの設定は microSD カードがドライブレコーダーに入っているときに行ってください。

- 1 【MENU】を押して[設定/情報]にタッチする
- 2 [情報]にタッチして、[ドライブレコーダー]にタッチする



- 3 [設定]にタッチする



ドライブレコーダーの設定画面が表示されます。

設定できる項目は以下のとおりです。

*: お買い上げ時の設定です。

項目	設定	説明
画質	高画質*/標準	録画の画質を設定します。
ブザー音	OFF/1/2*/3	ドライブレコーダーのブザー音の音量を設定します。
手動録画の自動停止	1分*/3分/しない	手動録画を開始後、自動停止する時間を設定できます。また、自動停止しないように設定することもできます。自動停止しないに設定した場合も手動録画の最大保存ファイル数になった時点で録画を終了します。
駐車時録画	ON*/OFF	エンジンスイッチがオフ中の駐車録画をするかしないかを設定します。
駐車時録画プラス	ON*/OFF	エンジンスイッチがオフ中の衝撃検知による録画をするかしないかを設定します。

項目	設定	説明
感度設定 (常時録画/ 駐車時録画)	0.3 (高) ～ 0.5* ～ 0.7 (低)	常時録画と駐車時録画の感度を設定します。数値を低く(感度を高く)設定するほど判定されやすくなります。
感度設定 (駐車時録画 プラス)	0.2 (高) ～ 0.3* ～ 0.6 (低)	駐車時録画プラス機能の感度を設定します。数値を低く(感度を高く)設定するほど判定されやすくなります。
SDカードの フォーマット	ドライブレコーダーのmicroSDカードをフォーマットします。	
設定初期化	ドライブレコーダー設定を初期化します。	



- パソコン用ビューアソフトでのみ設定できる項目があります。詳細はドライブレコーダーDRH-189Nの取扱説明書をご覧ください。

ドライブレコーダーからmicroSDカードを取り出す

お願い

- ドライブレコーダーからmicroSDカードを取り出すときは、必ず以下の操作を行ってから取り出してください。この操作を行わないとmicroSDカード内のデータが壊れる恐れがあります。

- 1 【MENU】を押して[設定/情報]にタッチする
- 2 [情報]にタッチして、[ドライブレコーダー]にタッチする

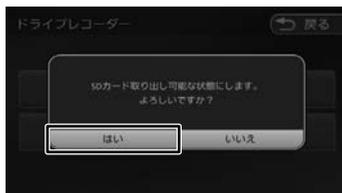


- 3 [SDカード取出]にタッチする



メッセージが表示されます。

- 4 [はい]にタッチする



メッセージが表示されます。

- 5 「SDカードを取り出すことができます。」と表示されたら、ドライブレコーダーのmicroSDカードをいったん押し込んで抜く

リアルタイムでドライブレコーダーの映像を表示する

- 1 【MENU】を押して[設定/情報]にタッチする
- 2 [情報]にタッチして、[ドライブレコーダー]にタッチする



- 3 [カメラモニター]にタッチする



ドライブレコーダーの現在のカメラ映像が表示されます。

別売のドライブレコーダー DRH-204VD の操作・設定をする

別売のドライブレコーダー（ナビ連動タイプ：DRH-204VD）の接続が必要です。ドライブレコーダーの動作、動画ファイル数など詳細については、別売のドライブレコーダー（ナビ連動タイプ：DRH-204VD）の取扱説明書をご覧ください。



- 設定 / 情報メニューの [ドライブレコーダー] にタッチすると、ドライブレコーダーの録画が一時停止し、オーディオ機能もオフになります。その後、[現在地] を押してドライブレコーダー画面を終了すると録画を再開し、オーディオ機能がオンになります。

録画について

● 動画の種類

常時録画	車のエンジンスイッチをアクセサリ、またはオンに入れている間、ドライブレコーダーは常に録画を行います。*1*2
手動録画	本機のオプションボタンを押し続けて録画を開始します。手動録画の録画時間はオプションボタンを押す前の約 12 秒と押しはじめた後の約 8 秒で約 20 秒となります。手動録画が終了すると常時録画に戻ります。*3
駐車時録画	車のエンジンスイッチをオフに入れ、降車時録画開始時間の設定時間が経過したあとから、最大約 30 分間録画します。*2*4*5
駐車時録画プラス	車のエンジンスイッチをオフに入れている間（オフ直後から降車時開始時間設定の設定時間が経過するまでを除く）に衝撃を検知すると、約 1 分間（検知して約 4 秒後から約 1 分間）録画します。*3*4*5

*1：ドライブレコーダーの再生中や、ドライブレコーダーの設定などをしていているときは録画が停止します。（録画中 / 録画停止中は情報バーに表示されるインジケータでご確認ください。）

*2：録画を継続するため、ドライブレコーダーに挿入している microSD カードの空き容量が少なくなると、動画ファイルを録画日の古い順に上書きします。

*3：上書き保存設定が「ON」のときは各録画

で設定している録画可能件数になると古いファイルから上書きします。上書きしないように「OFF」にすることもできます。別売のドライブレコーダー（ナビ連動タイプ：DRH-204VD）の取扱説明書をご覧ください。

- *4：車両のバッテリー状態および検知頻度に応じて、エンジン始動に支障がないように安全機能が動き、録画を停止する場合があります。
- *5：降車時開始時間設定については、別売のドライブレコーダー（ナビ連動タイプ：DRH-204VD）の取扱説明書をご覧ください。
- ドライブレコーダーで静止画撮影することができます。
- 録画された動画 / 静止画はドライブレコーダーに挿入された microSD カードに保存します。なお、動画は標準 / 長時間モードともに約 2 分ずつを 1 ファイルに保存します。
- 別売の後方録画カメラ取り付け時は、前方、後方両方の録画 / 静止画撮影を行います。

録画の状態表示について

情報バーにインジケータが表示されます。



*：別売の後方録画カメラ取り付け時のみ表示

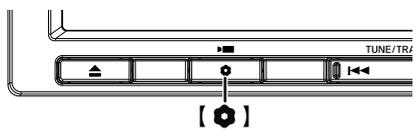
常時録画中の場合（例）



インジケータ

手動録画する

1 オプションボタンを長押しする



手動録画が開始され録画されます。自動で手動録画が終了し常時録画に戻ります。

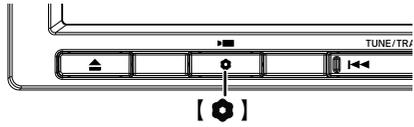


- 手動録画が終了する前にもう1度オプションボタンを長押しすると、そこから手動録画が約20秒延長されます。延長時間は最大で約60秒です。

ドライブレコーダーで静止画撮影する

あらかじめ、オプションボタンに「静止画撮影」(ドライブレコーダー静止画撮影)を設定しておく必要があります。(→ P.116)

1 オプションボタンを押す



- 連続してオプションボタンを押すと静止画撮影ができないことがあります。

録画した動画・静止画を再生する

1 【MENU】を押して[設定/情報]にタッチする

2 [情報]にタッチして、[ドライブレコーダー]にタッチする



- ドライブレコーダーにmicroSDカードを挿入していないときは、ドライブレコーダーのアイコンがグレースアウト表示(タッチできない状態)になります。

3 [再生]にタッチする



4 再生する動画または静止画を選んでタッチする

リストは日付が新しい順に表示されます。



- : 手動録画ファイル
- : 急加速 / 急減速情報のあるファイル
- : 合流地点情報のあるファイル
- : 駐車時録画プラスのファイル

【動画】

microSD カードに録画されているすべての動画を表示します。再生したいファイルにタッチします。

【静止画】

microSD カードに録画されているすべての静止画を表示します。表示したいファイルにタッチします。

【保存フォルダ】

【動画】から保存フォルダに移動 (→ P.164) したファイルを表示します。再生したいファイルにタッチします。

【全表示】

すべての録画ファイルを表示します。

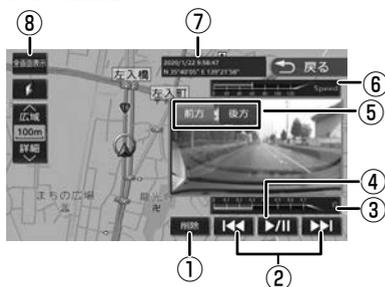
【手動録画】

手動録画ファイルのみ表示します。

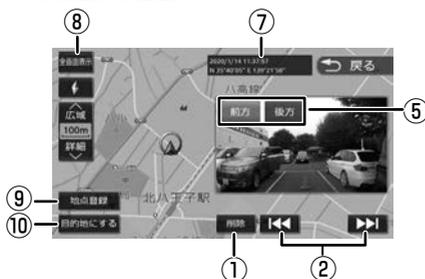
5 【再生】にタッチする



動画再生画面



静止画表示画面



①ファイルを削除します。

②押すと前 / 次のファイルを再生します。(動画終了後は、自動で次のファイルが再生されます。) 長押しすると早戻し / 早送りをします。

③録画時の加速 / 減速レベルを表示します。表示更新は約 1 秒間に 1 回のため、実際の車の加速 / 減速レベルとは異なる場合があります。

④再生 / 一時停止します。

⑤別売の後方録画カメラ取り付け時に表示されます。同時刻に録画または記録された前方カメラと後方カメラのファイルを切り替えます。[前方] / [後方] ボタンは一定の時間がすぎると消えます。地図表示エリアにタッチすると再度表示することができます。

⑥録画時の走行速度

⑦録音 / 撮影時の日時 / 位置情報

⑧タッチするとドライブレコーダーの映像を全画面表示します。

⑨静止画を撮影した地点を登録することができます。

⑩静止画を撮影した地点を目的地に設定することができます。

■ 動画再生画面 / 静止画再生画面について

- 表示される走行速度や加速 / 減速レベルは目安です。
- GPS などの情報が記録できなかった場合、映像が全画面で表示されたり、各情報 (加速 / 減速のレベルなど) や [地点登録]、[目的地] ボタンが非表示になることがあります。
- 次の映像に自動遷移する際、一度黒画面を表示します。
- ドライブレコーダー以外のファイルが microSD カードに入っていると正常に動作しない可能性があります。

録画した動画・静止画を削除する

全て削除する

1 全削除する再生リストを表示する



2 【全削除】にタッチして、【はい】にタッチする



- 別売の後方録画カメラ取り付け時は、選択した再生リストの前方、後方両方の全ファイルを削除します。

一つ選んで削除する

1 削除したい動画または静止画を再生する



2 再生画面で【削除】にタッチして、【はい】にタッチする



- 別売の後方録画カメラ取り付け時は、前方、後方のどちらを再生していても、両方のファイル（同時に録画または記録されたファイル）を削除します。

保存フォルダへ移動する

上書きされたくない動画ファイルを、保存フォルダに移動することができます。



- 保存フォルダへ移動できるのは動画のみです。
- 保存フォルダへ移動した動画は上書きされなくなります。
- 保存フォルダには最大 20 ファイルまで移動できます。

1 【MENU】を押して【設定 / 情報】にタッチする

2 【情報】にタッチして、【ドライブレコーダー】にタッチする



3 【再生】にタッチする



4 リストから移動したい動画を選んでタッチする



5 【保存】にタッチして、【はい】にタッチする



ドライブレコーダーの設定をする

ドライブレコーダーの設定は microSD カードがドライブレコーダーに入っているときに行ってください。

- 1 【MENU】を押して【設定 / 情報】にタッチする
- 2 【情報】にタッチして、【ドライブレコーダー】にタッチする



3 【設定】にタッチする



ドライブレコーダーの設定画面が表示されます。

設定できる項目は以下のとおりです。

* : お買い上げ時の設定です。

項目	設定	説明
画質	標準*/長時間	録画の画質を設定します。
ブザー音	OFF/1/2*/3	ドライブレコーダーのブザー音の音量を設定します。
音声録音	ON*/OFF	音声録音をするかしないかを設定します。

項目	設定	説明
駐車時録画	ON*/OFF	エンジンスイッチがオフ中の駐車録画をするかしないかを設定します。
駐車時録画プラス	ON*/OFF	エンジンスイッチがオフ中の衝撃検知による録画をするかしないかを設定します。
感度設定 (常時録画)	1 (低) ~ 4* ~ 5 (高)	常時録画と駐車時録画の感度を設定します。数値を高く (感度を高く) 設定するほど判定されやすくなります。
感度設定 (駐車時録画プラス)	1 (低) ~ 4* ~ 5 (高)	駐車時録画プラス機能の感度を設定します。数値を高く (感度を高く) 設定するほど判定されやすくなります。
SD カードのフォーマット		ドライブレコーダーの microSD カードをフォーマットします。
設定初期化		ドライブレコーダー設定を初期化します。



- ・パソコン用ビューアソフトと Wi-Fi スマホアプリケーションでのみ設定できる項目があります。詳細はドライブレコーダー DRH-204VD の取扱説明書をご覧ください。

ドライブレコーダーから microSD カードを取り出す

お願い

- ・ドライブレコーダーから microSD カードを取り出すときは、必ず以下の操作を行ってから取り出してください。この操作を行わないと microSD カード内のデータが壊れる恐れがあります。

- 1 【MENU】を押して【設定 / 情報】にタッチする
- 2 【情報】にタッチして、【ドライブレコーダー】にタッチする

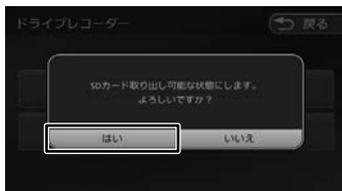


- 3 【SD カード取出】にタッチする



メッセージが表示されます。

- 4 【はい】にタッチする



メッセージが表示されます。

- 5 「SD カードを取り出すことができます。」と表示されたら、ドライブレコーダーの microSD カードをいったん押し込んで抜く

リアルタイムでドライブレコーダーの映像を表示する

- 1 【MENU】を押して【設定 / 情報】にタッチする
- 2 【情報】にタッチして、【ドライブレコーダー】にタッチする



- 3 【カメラモニター】にタッチする



ドライブレコーダーの現在のカメラ映像が表示されます。



別売の後方録画カメラ取り付け時のみ表示されます。

【前方】：

ドライブレコーダーの前方の映像を表示します。

【後方】：

ドライブレコーダーの後方の映像を表示します。



- ・【前方】 / 【後方】 ボタンは一定の時間がすぎると消えます。地図表示エリアにタッチすると再度表示することができます。

フロントカメラを使う

別売のフロントカメラを接続することができます。機能に関する詳細は、別売のフロントカメラの説明書をご覧ください。

カメラの映像について

お願い

- ・フロントカメラの映像調整などをするときは、必ず車を安全な場所に停車して行ってください。

フロントカメラを設定する

車速に連動してカメラ映像を自動で表示できるようにしたり、カメラの接続アイコンを表示するようにに設定することができます。

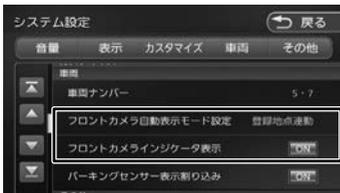
1 【MENU】を押して【設定 / 情報】にタッチする



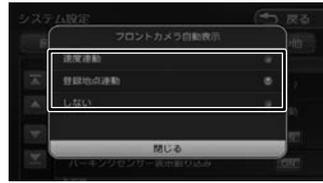
2 【システム】にタッチする



3 「車両」の各項目を設定する



【フロントカメラ自動表示モード設定】：
フロントカメラの映像に自動で切り替えるかどうかを設定します。



【しない】：
自動で切り替えません。

【速度連動】：
車速が低速になったら切り替えます。

【登録地点連動】：
カメラ地点として登録した場所に低速で近づいたときに、自動で切り替えます。カメラ地点の登録については64ページをご覧ください。

【フロントカメラインジケータ表示】：
本機の画面にフロントカメラの接続インジケータを表示する(ON)かしない(OFF)かを設定します。「ON」に設定していると、情報バーにフロントカメラのインジケータが表示されます。



インジケータ

【フロントカメラ自動表示モード設定】(→ P.172) によりインジケータの色が変わります。

緑色：【速度連動】または【登録地点連動】に設定されているとき

灰色：【しない】に設定されているとき

フロントカメラの映像を表示する

フロントカメラの映像



■ フロントカメラ自動表示モードを [速度連動]、または [登録地点連動] に設定しているときは

車の走行速度が低速、または、低速でカメラ登録地点に近づくと、フロントカメラの映像に自動で切り替わります。

速度が上がると自動でもとの画面に戻ります。

■ フロントカメラ自動表示モードを [しない] に設定しているときは

フロントパネルの【】にオプションボタン登録機能が「フロントカメラ切替」に設定(→ P.116)されていると、停車中または低速のときに、【】を押すとカメラ映像を表示することができます。

カメラ映像表示中にもう一度押すともとの画面に戻ります。



- 高速走行中は【】を押してもメッセージが表示され、カメラ映像に切り替わりません。

■ リアカメラとフロントカメラを接続しているときは

フロントパネルの【】にオプションボタン登録機能が「フロントカメラ切替」に設定されていると、リアカメラ映像を表示中に【】を押すたびに、リアカメラとフロントカメラの映像を切り替えることができます。



- 車のセレクトレバーをリバース以外に入れている場合は、リアカメラ映像画面への切り替えはできません。

画質を調整する

1 カメラ映像表示中に【MENU】を長押しする



画質調整のボタンが表示されます。操作については 70 ページをご覧ください。

ビューを切り替える

ビュー(ワイド/ノーマル/シースルー)を切り替えることができます。

お願い

- ビューの切り替えは、低速で走行中でも可能ですが、十分に周囲の安全を確認してから行ってください。

1 カメラ映像表示中にビューアイコンにタッチする



ビューアイコン



ノーマル：
ノーマルビューに切り替えます。



ワイド：
ワイドビューに切り替えます。



シースルー：
シースルービューに切り替えます。

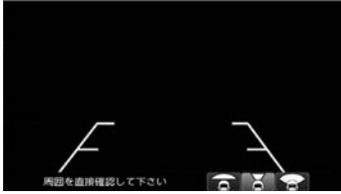


- 現在表示中のビューアイコンは緑色表示となり、タッチできません。

ガイドラインを表示する / 消す

ノーマルビュー / ワイドビュー時は、ガイドラインの表示設定ができます。

1 カメラ映像表示中に画面にタッチする



操作ボタンが表示されます。

2 [ガイドライン表示] にタッチする



「ガイドライン表示」ボタンは一定の時間がすぎると消えます。

ガイドラインが消えます。
もう一度タッチするとガイドラインを表示します。

ガイドラインの見かた

フロントカメラ映像がノーマルビュー / ワイドビューのときに、ガイドラインが表示されます。ガイドラインは車両前方の距離の目安を表示したものです。ガイドラインの見かたについての詳細は、別売りのフロントカメラの説明書をご覧ください。

シースルービューの映像を切り替える

シースルービューのときの映像を切り替えます。

1 カメラ映像表示中に画面にタッチする



操作ボタンが表示されます。

2 [シースルービュー切替] にタッチする



「シースルービュー切替」ボタンは一定の時間がすぎると消えます。

シースルービューのときの映像 (ノーマル / ワイド) を切り替えます。

リアカメラを使う

本機は、別売のリアカメラを接続することができます。

カメラについて、詳しくは別売のリアカメラの説明書をご覧ください。

リアカメラの映像を表示する

本機に接続したリアカメラの映像を表示します。

カメラの映像で後方確認をしてから車を後退させることができます。

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- リアカメラの映像は鏡像です。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見ると同じ左右反転させた画像です。
- 夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見えにくいことがあります。
- リアカメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。

1 セレクトレバーを“R”（リバース）にする



リアカメラの映像が表示されます。

セレクトレバーを“R”以外にすると、もとの画面に戻ります。

ビューを切り替える (リアワイドカメラ接続時)

リアワイドカメラ接続時はビュー（ノーマル/トップダウン/ワイド）を切り替えることができます。

お願い

- ビューの切り替えは、低速で走行中でも可能ですが十分に周囲の安全を確認してから行ってください。

1 カメラ映像表示中にビューアイコンにタッチする



ビューアイコン



ワイド：

ワイドビューに切り替えます。



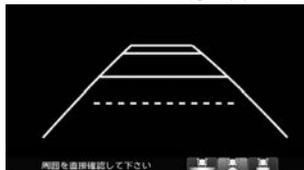
トップダウン：

トップダウンビューに切り替えます。



ノーマル：

ノーマルビューに切り替えます。



- 現在表示中のビューアイコンは緑色表示となり、タッチできません。

ガイドラインを表示する / 消す

1 カメラ映像表示中に画面にタッチする



操作ボタンが表示されます。

2 [ガイドライン表示] にタッチする



「ガイドライン表示」ボタンは一定の時間がすぎると消えます。

ガイドラインが消えます。
もう一度タッチするとガイドラインを表示します。

お願い

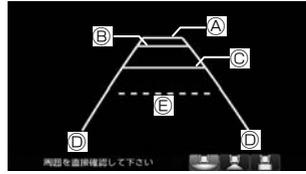
- リアカメラが映し出す範囲には限界があります。またリアカメラの画面上に表示されるリアカメラガイドは、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。
- 夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。
- 後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。リアカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- リアカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- リアカメラの表示ビューの切り替えや映像調整をするときは、必ず車を安全な場所に停車して行ってください。

ガイドラインの見かた

リアカメラの映像にはガイドラインが表示されます。

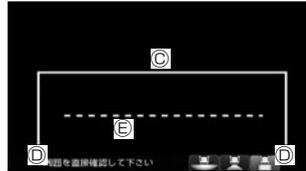
■ ワイドビュー

(リアワイドカメラ接続時のみ)

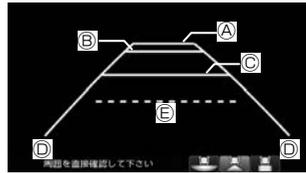


■ トップダウンビュー

(リアワイドカメラ接続時のみ)



■ ノーマルビュー



①: 車両後側面から約 3.0m

②: 車両後側面から約 2.0m

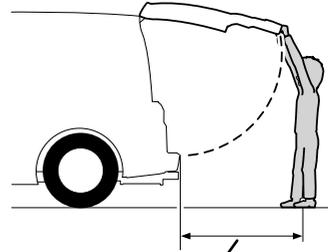
③: 車両後側面から約 0.5m または約 1.0m

④: 車両左右側面から約 25cm

⑤: テールゲート開閉可能ライン



- テールゲートなどの開閉に必要な距離は、Honda 販売店にてご相談ください。



テールゲートなどの開閉に必要な距離

- 説明に記載している数値は車種によって異なります。

- 以下の場合にはガイドラインと路面上の距離や障害物との距離に誤差が生じます。
 - 急な勾配の坂道など路面に対して車両が傾いているとき
 - 搭乗人数や積載量などにより車両が傾いているとき
- ガイドラインは路面上の距離を示す目安です。画面に立体物が表示されたときは実際の距離感とは異なります。

ダイナミックガイドラインを表示する / 消す (ダイナミックガイドライン対応車のみ)

ノーマルビュー/ワイドビューのときにハンドルを大きく切ると、ガイドライン表示がダイナミックガイドラインに切り替わります。ダイナミックガイドラインは、今のハンドル位置のまま後退した場合の予測進路を示すラインです。ハンドルの角度に合わせてラインの向きが変わります。

- ダイナミックガイドラインをオンにしておく必要があります。
- トップダウンビューの場合はダイナミックガイドラインに切り替えることはできません。
- 車両の装備やグレードがダイナミックガイドライン機能に対応している必要があります。

1 カメラ映像表示中に画面をタッチする

操作ボタンが表示されます。

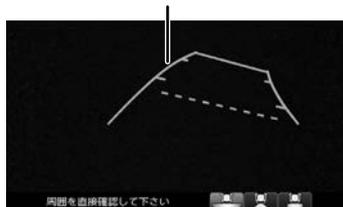
2 [ダイナミックガイドライン オン] または [ダイナミックガイドライン オフ] にタッチする

タッチするたびにダイナミックガイドラインのオン/オフが切り替わります。

ダイナミックガイドラインの見かた

ダイナミックガイドラインは、今のハンドル位置のまま後退した場合の予測進路を示すラインで、ハンドル角度に合わせてラインの向きが変わります。

ダイナミックガイドライン



次回表示ビューを設定する (リアワイドカメラ接続時)

次回表示するビューを設定することができます。

1 【MENU】を押して [設定 / 情報] にタッチする



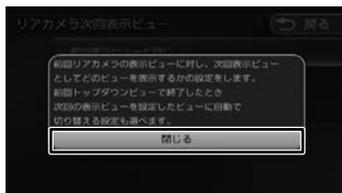
2 [システム] にタッチする



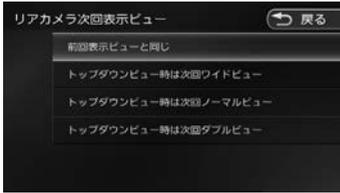
3 「車両」の [リアカメラ次回表示ビュー] にタッチする



4 表示された説明を読んで [閉じる] にタッチする



5 設定する項目にタッチする



[前回表示ビューと同じ] :

次回の表示を前回表示したビューで表示します。

[トップダウンビュー時は次回ワイドビュー] :

トップダウンビューで終了した後は次回ワイドビューで表示します。

[トップダウンビュー時は次回ノーマルビュー] :

トップダウンビューで終了した後は次回ノーマルビューで表示します。

[トップダウンビュー時は次回ダブルビュー]

リアカメラ de あんしんプラス 2/

リアカメラ de あんしんプラス 3 接続時のみ :

トップダウンビューで終了した後は次回ダブルビューで表示します。

画質を調整する

1 カメラ映像表示中に【MENU】を長押しする



画質を調整するボタンが表示されます。操作については 70 ページをご覧ください。

パーキングセンサーを使う

本機はパーキングセンサーを接続することができます。

本機では、パーキングセンサーが障害物を検知したときに、障害物までの距離をイラストと色で表示します。

車両の装備やグレードがパーキングセンサー連動に対応している必要があります。

パーキングセンサー標準装備車については、車両の取扱説明書をご覧ください。別売のパーキングセンサーの場合は、パーキングセンサーに付属の説明書をご覧ください。

お願い

- ・画面上に表示されるパーキングセンサー表示は、実際の距離間隔と異なる場合があります。あくまで補助手段としてご使用ください。
- ・パーキングセンサーは障害物が車両の周辺で検知された場合にのみ表示されますが、運転の補助としてお知らせするものであり、ドライバーの注意義務を軽減するものではありません。

カメラ映像以外の表示画面でのイラストとメッセージは、表示しないようにすることができます。

1 【MENU】を押して[設定/情報]にタッチする

2 [システム]にタッチする



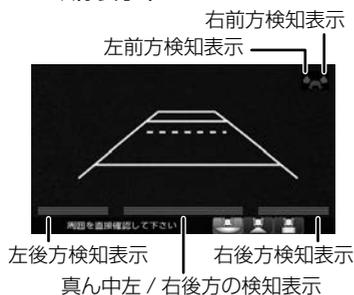
3 「車両」の [パーキングセンサー表示割り込み] にタッチする



■ パーキングセンサーのイラスト表示について

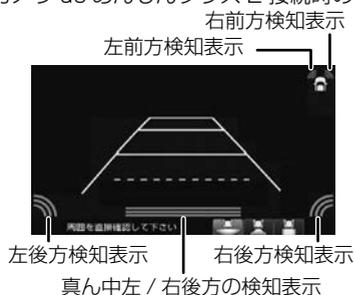
画面によって表示方法や表示されるイラストが異なります。

リアカメラ映像表示中



リアカメラ映像表示中

リアカメラ de あんしんプラス 2 接続時のみ



フロントカメラ映像表示中

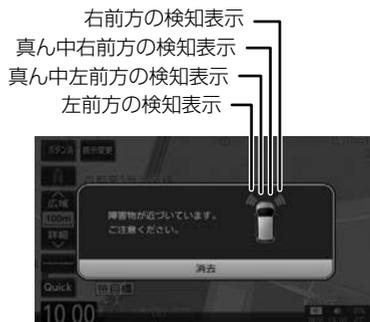


左前方検知表示 右前方検知表示
真ん中左 / 右前方の検知表示

カメラ映像以外の表示画面

カメラ映像以外の画面ではイラストとメッセージが表示されます。

[消去] にタッチするとイラストとメッセージは消去することができます。



■ 障害物を検知したときの作動状態

カメラ映像表示中

ブザー音の間隔	インジケータ	
	左前方 / 右前方 左後方 / 右後方	真ん中左 / 右前方 真ん中左 / 右後方
長い	—	黄色
短い	橙色	橙色
非常に短い	橙色	橙色
連続	赤色	赤色

カメラ映像表示中以外

ブザー音の間隔	インジケータ	
	左前方 / 右前方	真ん中左 / 右前方
長い	—	黄色 1 本
短い	橙色 2 本	橙色 2 本
非常に短い	橙色 3 本	橙色 3 本
連続	赤色 4 本	赤色 4 本

※パーキングセンサーの装着個数は、車両によって異なります。

ステアリングリモコンを使う

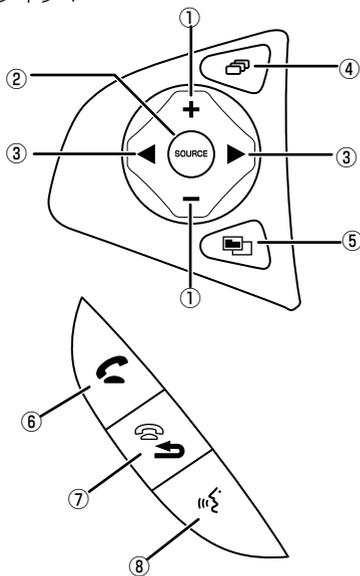
ステアリングリモコンについて

お使いの車のステアリングリモコンから本機を操作することができます。

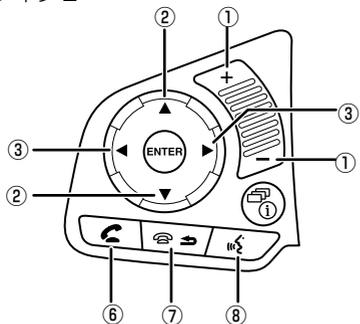
ステアリングリモコンのキー割り当てはお買い上げ時に設定されています。本機ではキーの割り当てを別の機能に割り当て直すこともできます。

お買い上げ時の設定

タイプ 1



タイプ 2



キー	機能
① 音量	音量を調整します。
② SOURCE/ ▼ / ▲	押すたびに AV ソースを切り替えます。
③ チャンネル	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ： <ul style="list-style-type: none"> プリセット局を番号順に受信します。 「サーチ中」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します (オート選局)。もう一度タッチすると、オート選局を中止します (オート選局)。 TV： <ul style="list-style-type: none"> 前または次のプリセット局を選局します。 ファイル再生： <ul style="list-style-type: none"> 前 / 次のファイルを再生します。長押しすると、前 / 次のフォルダから再生します。 CD/iPod/Bluetooth AUDIO 再生： <ul style="list-style-type: none"> 前 / 次の曲を再生します。長押しする操作に機能はありません。 DVD 再生： <ul style="list-style-type: none"> 前 / 次のチャプターを再生します。長押しする操作に機能はありません。
④ ファンクション	AV 画面と現在地画面を押すたびに切り替えます。
⑤ ショートカット	フロントパネルの【】(OPTION) に設定されている機能进行操作します。
⑥ オフフック	ハンズフリーの電話を受けます。(Bluetooth 接続中)
⑦ オンフック / 取り消し	ハンズフリーの電話を切ります。(Bluetooth 接続中)
⑧ 発話	お買い上げ時は何も設定されていません。

ステアリングリモコンは装着している車によってデザイン、形状、キーの個数が異なる場合があります。

独自に機能を割り当てる

ステアリングリモコンのキーに機能割り当てを行います。



- キーによって設定できる機能が限られる場合があります。

1 【MENU】を押して【設定 / 情報】にタッチする



2 【システム】にタッチする



3 【カスタマイズ】の【ステアリングリモコンカスタマイズ】にタッチする



4 操作方法を確認して【閉じる】にタッチする



5 機能を割り当てるステアリングリモコンのキーを約 2 秒以上押す



6 割り当てる機能にタッチする



画面に割り当てられたキーと機能名がハイライトします。



7 手順 5 と 6 を繰り返して他のキーにも割り当てる

8 【完了】にタッチする

設定できる機能は以下のとおりです。

キー	機能
POWER ON/OFF	AV 機能をオフにします。もう一度押すとオンになります。
VOL +	AV 音量を上げます。
VOL -	AV 音量を下げます。
CH UP	放送局や曲を切り替えます。
CH DOWN	放送局や曲を切り替えます。
SOURCE UP	AV ソースを切り替えます。
SOURCE DOWN	AV ソースを切り替えます。

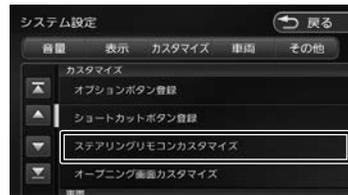
キー	機能
ミュート	AV ソースの音声出力をオフにします。もう一度押すとオンになります。
現在地	現在地図画面を表示します。
広域	広域な地図を表示します。 (地図画面表示中)
詳細	詳細な地図を表示します。 (地図画面表示中)
現在地点登録	現在の地点を登録します。
案内中止	ルート案内を中止します。
自宅に戻る	自宅を目的地に設定します。
リダイヤル	最後にかけた電話番号に発信します。
	ハンズフリーの電話を受けます。 (Bluetooth 接続中)
	ハンズフリーの電話を切ります。 (Bluetooth 接続中)
昼夜切替	画面の輝度を昼 (通常) / 夜 (減光) と切り替えます。地図の色、画質調整値、画面の明るさが押すたびに切り替わります。ナビ設定の地図色昼夜切替が「自動」に設定されているときは、画面の輝度に連動して切り替わります。
時計 ON/OFF	時計の全画面表示する / しないを切り替えます。
画面消し	画面を消します。ただし、リアカメラ映像が表示中は、画面消しの機能は利用できません。
N/A 画面切替	AV 画面と現在地図画面を押すたびに切り替えます。
右画面地図	右画面地図の表示 / 非表示を切り替えます。
オプションボタンと同機能	フロントパネルの【  】(OPTION) に設定されている機能进行操作します。
フロントカメラ切替	フロントカメラの映像に切り替えます。
ドライブレコーダー静止画撮影	ドライブレコーダー接続時のみ表示されます。ドライブレコーダーの静止画を撮影します。
ドライブレコーダー録画 ON/OFF	ドライブレコーダー (DRH-189N) 接続時のみ表示されます。ドライブレコーダーの手動録画を開始 / 停止します。
ドライブレコーダー録画	ドライブレコーダー (DRH-204VD) 接続時のみ表示されます。ドライブレコーダーの手動録画を開始 / 延長します。
割り当てなし	機能を割り当てません。

割り当てられたキーを確認する

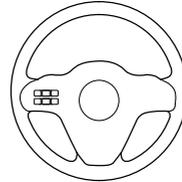
- 1 【MENU】を押して [設定 / 情報] にタッチする
- 2 [システム] にタッチする



- 3 「カスタマイズ」の [ステアリングリモコンカスタマイズ] にタッチする



- 4 確認したいステアリングリモコンのキーを押す



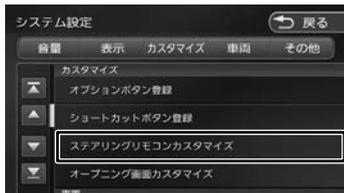
画面に割り当てられたキーと機能名がハイライトします。



ステアリングリモコンキーの割り当てを初期化 / 変更する

独自に割り当てたステアリングリモコンキーの変更または初期化ができます。

1 「カスタマイズ」の「ステアリングリモコンカスタマイズ」にタッチする



■ 初期化する

[初期化] にタッチします。

ステアリングリモコンに割り当てたキー設定をすべてお買い上げ時に戻します。

■ 変更する

手順2へ進んでください。

2 変更したいステアリングリモコンのキーを2秒以上押す



画面に割り当てる機能リストが表示されます。

3 割り当てる機能にタッチする



画面に割り当てられたキーと機能名がハイライトします。



4 [完了] にタッチする

リアカメラ de あんしんプラスを使う

お使いの車に別売の「リアカメラ de あんしんプラス」(後退出庫サポート/後方死角サポート/車線キープサポート)を装着していると、警報による注意喚起や運転支援の情報を本機で表示します。

別売のリアカメラ de あんしんプラスについては、リアカメラ de あんしんプラスの説明書をご覧ください。

お願い

- このシステムは、後退時や走行時の後方確認などをサポートするためのものであり、衝突を防止するためのシステムではありません。
- 後退時や走行時は、必ず目視やミラーなどで後方及び周囲の安全を直接確認してください。状況によっては、検知できない可能性があるため、ブザーや画面のみを頼って走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

リアカメラ de あんしんプラス機能をオン/オフする

リアカメラ de あんしんプラス機能をそれぞれオン/オフすることができます。

- 1 【MENU】を押して【設定/情報】にタッチする
- 2 【システム】にタッチする



- 3 「車両」の各機能にタッチする



【ON】:

機能をオンにします。
オンにすると各システムの画面でアイコンが表示されます。

【OFF】:

機能をオフにします。



- OFF に設定しているときは、それぞれの機能アイコンは画面に表示されません。
- 設定が ON のときに、機能アイコンにタッチすると、機能を ON/OFF することができます。
- アイコンはリアカメラ de あんしんプラスを接続しているときに表示されます。

警報音を設定する

- 1 「車両」の【運転支援警報音】にタッチする



【大】/【中】/【小】:

警報音の出力レベルを選択します。

【消】:

警報音を出力しません。

リアカメラ de あんしんプラス機能の種類と表示

リアカメラ de あんしんプラスの機能は、後退出庫サポート、後方死角サポート、車線キープサポートの3種類です。

後退出庫サポート

後退して駐車場を出庫するときなど、リアカメラ映像に後方で接近する移動物を接近方向矢印および車両検知枠（ワイドビューのみ）で表示します。

■ アイコンで機能をオン/オフする

画面に表示される後退出庫サポートアイコンにタッチすると、機能をオン/オフすることができます。

1 リアカメラ映像表示中に後退出庫サポートアイコンにタッチする



後退出庫サポートアイコン

アイコン	機能
	機能がオンになっています。このアイコンにタッチすると機能がオフになります。
	機能がオフになっています。このアイコンにタッチすると機能がオンになります。
	システムが故障しています。お買い上げの販売店にお問い合わせください。
	カメラが汚れています。乾布などでレンズ部に傷を付けないように拭いてください。

■ リアカメラ映像ビューを切り替える

1 リアカメラ映像表示中にビューアイコンにタッチする



ビューアイコン

ワイド：
ワイドビューに切り替えます。
車両検知枠



ノーマル：
ノーマルビューに切り替えます。
接近方向矢印



トップダウン：
トップダウンビューに切り替えます。



・ ガイドラインはリアカメラの設定で表示する / しないを設定できます。(→ P.176)

後方死角サポート

車線変更をするときに、後方に車が接近していたときなどにアイコンで状態を表示します。走行速度が一定以下、またはセレクトレバーがリバースの場合は警告しません。

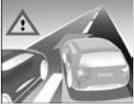
■ アイコンで後方死角サポート機能をオン/オフする

画面に表示される後方死角サポートアイコンにタッチすると、機能をオン/オフすることができます。

1 後方死角サポートアイコンにタッチする

後方死角サポートアイコン



アイコン	機能
 (緑色)	機能がオンになっています。このアイコンにタッチすると機能がオフになります。
 (緑色)	機能が働く速度に達していません。
 (灰色)	機能がオフになっています。このアイコンにタッチすると機能がオンになります。
 (オレンジ)	システムが故障しています。お買い上げの販売店にお問い合わせください。
 (オレンジ)	左側に車が接近しています。
 (オレンジ)	右側に車が接近しています。
 (オレンジ)	左右両側に車が接近しています。
	車両の左側に車が接近しているときに、左ウィンカーを作動させると拡大して表示されます。
	車両の右側に車が接近しているときに、右ウィンカーを作動させると拡大して表示されます。
 (オレンジ)	カメラが汚れています。乾布などでレンズ部に傷を付けないように拭いてください。

車線キープサポート

車線から車のはみ出してしまったときに、アイコンで状態を表示します。

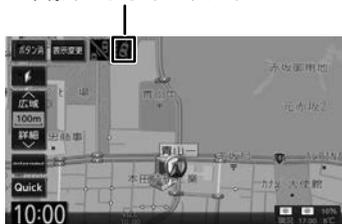
走行速度が一定以下、またはセレクトレバーがリバースの場合は警告しません。

■ アイコンで車線キープサポート機能をオン/オフする

画面に表示される車線キープサポートアイコンにタッチすると、機能をオン/オフすることができます。

1 車線キープサポートアイコンにタッチする

車線キープサポートアイコン



アイコン	機能
 (緑色)	機能がオンになっています。このアイコンにタッチすると機能がオフになります。
 (緑色)	機能が働く速度に達していません。
 (灰色)	機能がオフになっています。このアイコンにタッチすると機能がオンになります。
 (橙色)	システムが故障しています。お買い上げの販売店にお問い合わせください。
	車が左側の車線から逸脱しそうになった場合、画面の右側に注意喚起の画像が拡大して表示されます。
	車が右側の車線から逸脱しそうになった場合、画面の右側に注意喚起の画像が拡大して表示されます。
 (橙色)	カメラが汚れています。乾布などでレンズ部に傷を付けないように拭いてください。

リアカメラ de あんしんプラス 2 を使う

お使いの車に別売の「リアカメラ de あんしんプラス 2」(後退出庫サポート / 後方死角サポート / 車線キープサポート / 後退駐車サポート) を装着していると、警報による注意喚起や運転支援の情報を本機で表示します。別売のリアカメラ de あんしんプラス 2 については、リアカメラ de あんしんプラス 2 の説明書をご覧ください。

お願い

- このシステムは、後退時や走行時の後方確認などをサポートするためのものであり、衝突を防止するためのシステムではありません。
- 後退時や走行時は、必ず目視やミラーなどで後方及び周囲の安全を直接確認してください。状況によっては、検知できない可能性があるため、ブザーや画面のみを頼って走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

リアカメラ de あんしんプラス 2 機能をオン / オフする

- 1 【MENU】を押して [設定 / 情報] にタッチする
- 2 【システム】にタッチする



- 3 「車両」の各機能にタッチする



[ON] : 機能をオンにします。
オンにすると各システムの画面でアイコンが表示されます。

[OFF] : 機能をオフにします。



- OFF に設定しているときは、それぞれの機能アイコンは画面に表示されません。
- 設定が ON のときに、機能アイコンにタッチすると、機能を ON/OFF することができます。
- アイコンはリアカメラ de あんしんプラス 2 を接続しているときに表示されます。

警報音を設定する

- 1 「車両」の [運転支援警報音] にタッチする



- [大]/[中]/[小] :
警報音の出力レベルを選択します。
- [消] :
警報音を出力しません。

リアカメラ de あんしんプラス 2 機能の種類と表示

リアカメラ de あんしんプラス 2 の機能は、後退出庫サポート、後方死角サポート、車線キープサポート、後退駐車サポートの 4 種類です。

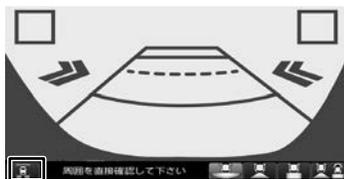
後退出庫サポート

後退して駐車場を出庫するときなど、リアカメラ映像に後方で接近する移動物を接近方向矢印および車両検知枠(ワイドビューのみ)で表示します。

■ アイコンで機能をオン / オフする

画面に表示される後退出庫サポートアイコンにタッチすると、機能をオン / オフすることができます。

1 リアカメラ映像表示中に後退出庫サポートアイコンにタッチする

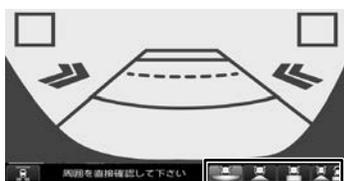


後退出庫サポートアイコン

アイコン	機能
	機能がオンになっています。このアイコンにタッチすると機能がオフになります。
	機能がオフになっています。このアイコンにタッチすると機能がオンになります。
	システムが故障しています。お買い上げの販売店にお問い合わせください。
	カメラが汚れています。乾布などでレンズ部に傷を付けないように拭いてください。

■ リアカメラ映像ビューを切り替える

1 リアカメラ映像表示中にビューアイコンにタッチする

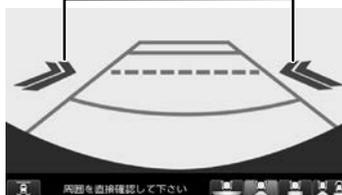


ビューアイコン

ワイド：
ワイドビューに切り替えます。
車両検知枠



ノーマル：
ノーマルビューに切り替えます。
接近方向矢印



トップダウン：
トップダウンビューに切り替えます。



ダブル：
ダブルビューに切り替えます。

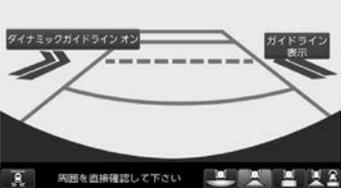


・ ガイドラインはリアカメラの設定で表示する / しなないを設定できます。(→ P.176)

■ 操作ボタンを表示する

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。

ワイド/ノーマル/トップダウンビュー画面



ダブルビュー画面



ガイドライン表示：

ガイドラインを表示します。もう一度タッチするとガイドラインを消します。

ダイナミックガイドライン オン：

ダイナミックガイドラインを表示する設定にします。もう一度タッチするとダイナミックガイドラインは表示しない設定になります。



- ダイナミックガイドラインは、ハンドルを大きく切ったとき、ガイドライン表示がダイナミックガイドラインに切り替わります。ダイナミックガイドラインは、今のハンドル位置のまま後退した場合の予測進路を示すラインです。ハンドルの角度に合わせてラインの向きが変わります。

後方死角サポート

車線変更をするときに後方に車が接近していたときなどにアイコンで状態を表示します。

走行速度が一定以下、またはセレクトレバーがリバースの場合は警告しません。

■ アイコンで後方死角サポート機能をオン/オフする

画面に表示される後方死角サポートアイコンにタッチすると、機能をオン/オフすることができます。

1 後方死角サポートアイコンにタッチする



アイコン	機能
(緑色)	機能がオンになっています。このアイコンにタッチすると機能がオフになります。
(緑色)	機能が働く速度に達していません。
(灰色)	機能がオフになっています。このアイコンにタッチすると機能がオンになります。
(オレンジ)	システムが故障しています。お買い上げの販売店にお問い合わせください。
(オレンジ)	左側に車が接近しています。
(オレンジ)	右側に車が接近しています。
(オレンジ)	左右両側に車が接近しています。
(オレンジ)	車両の左側に車が接近しているときに、左ウィンカーを作動させると拡大して表示されます。
(オレンジ)	車両の右側に車が接近しているときに、右ウィンカーを作動させると拡大して表示されます。
(オレンジ)	カメラが汚れています。乾布などでレンズ部に傷を付けないように拭いてください。

車線キープサポート

車線から車がはみ出してしまったときに、アイコンで状態を表示します。

走行速度が一定以下、またはセレクトレバーがリバースの場合は警告しません。

■ アイコンで車線キープサポート機能をオン/オフする

画面に表示される車線キープサポートアイコンにタッチすると、機能をオン/オフすることができます。

1 車線キープサポートアイコンにタッチする

車線キープサポートアイコン



アイコン	機能
 (緑色)	機能がオンになっています。このアイコンにタッチすると機能がオフになります。
 (緑色)	機能が働く速度に達していません。
 (灰色)	機能がオフになっています。このアイコンにタッチすると機能がオンになります。
 (橙色)	システムが故障しています。お買い上げの販売店にお問い合わせください。
	車が左側の車線から逸脱しそうになった場合、画面の右側に注意喚起の画像が拡大して表示されます。
	車が右側の車線から逸脱しそうになった場合、画面の右側に注意喚起の画像が拡大して表示されます。
 (橙色)	カメラが汚れています。乾布などでレンズ部に傷を付けないように拭いてください。

後退駐車サポート

車を後退で駐車するときに、駐車しやすいようにサポートします。

1 セレクトレバーを“R”（リバース）にする



リアカメラ de あんしんプラス 3 を使う

お使いの車に別売の「リアカメラ de あんしんプラス 3」(後退出庫サポート/後方死角サポート/後退駐車サポート/後方車両お知らせ)を装着していると、警報による注意喚起や運転支援の情報を本機で表示します。別売のリアカメラ de あんしんプラス 3 については、リアカメラ de あんしんプラス 3 の説明書をご覧ください。

お願い

- このシステムは、後退時や走行時の後方確認などをサポートするためのものであり、衝突を防止するためのシステムではありません。
- 後退時や走行時は、必ず目視やミラーなどで後方及び周囲の安全を直接確認してください。状況によっては、検知できない可能性があるため、ブザーや画面のみを頼って走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

リアカメラ de あんしんプラス 3 機能をオン / オフする

- 1 【MENU】を押して [設定 / 情報] にタッチする
- 2 [システム] にタッチする



- 3 「車両」の各機能にタッチする



[ON] : 機能をオンにします。
オンにすると各システムの画面でアイコンが表示されます。

[OFF] : 機能をオフにします。



- OFF に設定しているときは、それぞれの機能アイコンは画面に表示されません。
- 設定が ON のときに、機能アイコンにタッチすると、機能を ON/OFF することができます。
- アイコンはリアカメラ de あんしんプラス 3 を接続しているときに表示されます。

警報音を設定する

- 1 「車両」の [運転支援警報音] にタッチする



[大] / [中] / [小] :
警報音の出力レベルを選択します。

[消] :
警報音を出力しません。

リアカメラ de あんしんプラス 3 機能の種類と表示

リアカメラ de あんしんプラス 3 の機能は、後退出庫サポート、後方死角サポート、後退駐車サポート、後方車両お知らせの 4 種類です。

後退出庫サポート

後退して駐車場を出庫するときなど、リアカメラ映像に後方で接近する移動物を接近方向矢印および車両検知枠 (ワイドビューのみ) で表示します。

■ アイコンで機能をオン / オフする

画面に表示される後退出庫サポートアイコンにタッチすると、機能をオン / オフすることができます。

- 1 リアカメラ映像表示中に後退出庫サポートアイコンにタッチする

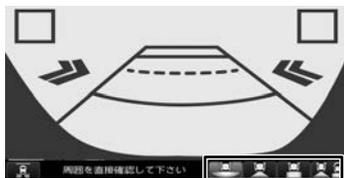


後退出庫サポートアイコン

アイコン	機能
	機能がオンになっています。このアイコンにタッチすると機能がオフになります。
	機能がオフになっています。このアイコンにタッチすると機能がオンになります。
	システムが故障しています。お買い上げの販売店にお問い合わせください。
	カメラが汚れています。乾布などでレンズ部に傷を付けないように拭いてください。

■ リアカメラ映像ビューを切り替える

1 リアカメラ映像表示中にビューアイコンにタッチする

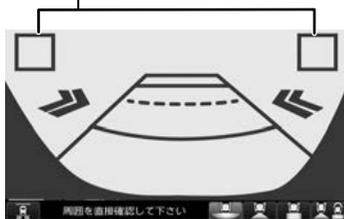


ビューアイコン



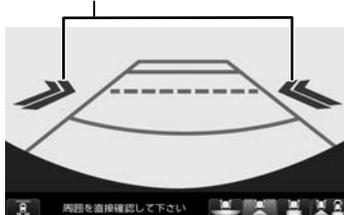
ワイド：

ワイドビューに切り替えます。
車両検知枠



ノーマル：

ノーマルビューに切り替えます。
接近方向矢印



トップダウン：

トップダウンビューに切り替えます。



ダブル：

ダブルビューに切り替えます。



- ・ガイドラインはリアカメラの設定で表示する/しないを設定できます。(→ P.176)

■ 後退出庫サポートの警報頻度を設定する

1 「車両」の[後退出庫サポート警報頻度]にタッチする



2 設定したい感度にタッチする



[高い]：
後退出庫サポートの警報頻度が最大になります。

[中間]：
後退出庫サポートの警報頻度が中程度になります。

[低い]：
後退出庫サポートの警報頻度が最小になります。

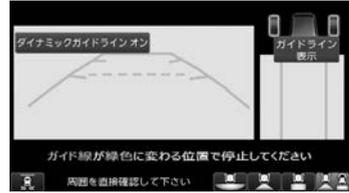
■ 操作ボタンを表示する

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。

ワイド / ノーマル / トップダウンビュー画面



ダブルビュー画面



ガイドライン表示：

ガイドラインを表示します。もう一度タッチするとガイドラインを消します。

ダイナミックガイドライン オン：

ダイナミックガイドラインを表示する設定にします。もう一度タッチするとダイナミックガイドラインは表示しない設定になります。



- ダイナミックガイドラインは、ハンドルを大きく切ったとき、ガイドライン表示がダイナミックガイドラインに切り替わります。ダイナミックガイドラインは、今のハンドル位置のまま後退した場合の予測進路を示すラインです。ハンドルの角度に合わせてラインの向きが変わります。

後方死角サポート

車線変更をするときに後方に車が接近していたときなどにアイコンで状態を表示します。走行速度が一定以下、またはセレクトレバーがリバースの場合は警告しません。

■ アイコンで後方死角サポート機能をオン/オフする

画面に表示される後方死角サポートアイコンにタッチすると、機能をオン/オフすることができます。

1 後方死角サポートアイコンにタッチする

後方死角サポートアイコン



アイコン	機能
 (緑色)	機能がオンになっています。このアイコンにタッチすると機能がオフになります。
 (緑色)	機能が働く速度に達していません。
 (灰色)	機能がオフになっています。このアイコンにタッチすると機能がオンになります。
 (橙色)	システムが故障しています。お買い上げの販売店にお問い合わせください。
 (橙色)	左側に車が接近しています。
 (橙色)	右側に車が接近しています。
 (橙色)	左右両側に車が接近しています。
	車両の左側に車が接近しているときに、左ウィンカーを作動させると拡大して表示されます。
	車両の右側に車が接近しているときに、右ウィンカーを作動させると拡大して表示されます。
 (橙色)	カメラが汚れています。乾布などでレンズ部に傷を付けないように拭いてください。

後退駐車サポート

車を後退で駐車するときに、駐車しやすいようにサポートします。

1 セレクトレバーを“R”（リバース）にする



■ 後退駐車サポートの表示を設定する

リアカメラ映像をダブルビューにした時の表示を切り替えます。

1 「車両」の [後退駐車サポート] にタッチする



2 設定したい項目にタッチする



[OFF] :

後退駐車サポートの表示をオフにします。

[まっすぐ駐車表示] :

後退駐車サポートの表示をオンにします。

[かんたん駐車ガイド] :

後退駐車サポートの表示をオンにし、かんたん駐車ガイドを行います。

後方車両お知らせ

走行中に後方の車が検知範囲内に入ったときに、アイコンで状態を表示します。

後方の車が検知範囲内に一定時間以上留まったときは、「後ろに車が接近しています」と音声でもお知らせします。

■ アイコンで後方車両お知らせ機能をオン/オフする

画面に表示される後方車両お知らせアイコンにタッチすると、機能をオン/オフすることができます。

1 後方車両お知らせアイコンにタッチする

後方車両お知らせアイコン



アイコン	機能
 (緑色)	機能がオンになっています。このアイコンにタッチすると機能がオフになります。
 (緑色)	機能が働く速度に達していません。
 (灰色)	機能がオフになっています。このアイコンにタッチすると機能がオンになります。
 (橙色)	システムが故障しています。買い上げの販売店にお問い合わせください。
 (橙色)	後方から車が接近しています。
 (橙色)	カメラが汚れています。乾布などでレンズ部に傷をつけないように拭いてください。

■ 後方車両お知らせの開始速度を設定する

- 1 「車両」の[後方車両お知らせ開始速度]にタッチする



- 2 設定したい速度にタッチする。



[60km/h]/[80km/h]/[100km/h]/
[120km/h] :

走行速度が設定した速度以上になると、
後方車両お知らせが動作します。

■ 後方車両お知らせの検知範囲を設定する

- 1 「車両」の[後方車両お知らせ検知範囲]にタッチする



- 2 設定したい項目にタッチする。



[狭い] :
後方車両お知らせの検知範囲が最小にな
ります。

[標準] :
後方車両お知らせの検知範囲が中程度に
なります。

[広い] :
後方車両お知らせの検知範囲が最大にな
ります。

■ 後方車両お知らせの音声を設定する

- 1 「車両」の[運転支援お知らせ音声]にタッチする



[ON] :
後方車両お知らせの音声案内を出力しま
す。

[OFF] :
後方車両お知らせの音声案内を出力しま
せん。

■ 後方車両お知らせ音声の音量を設定する

- 1 「車両」の[運転支援お知らせ音声音量]にタッチする



- 2 または にタッチして
音量を調整する

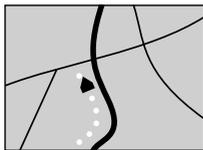


自車位置の測位精度について

マップマッチング機能について

マップマッチングとは、道路から外れた自車の位置を、論理的に地図画面の道路に合わせる機能のことです。

GPS や自律航法による測位には誤差が生じることがあり、現在地を道路以外の場所（川や海の上など）に表示してしまうことがあります。このような場合に、「車が海や川の上を走るはずがない」という論理的判断に基づき、現在地近くの道路上に自動修正します。



マップマッチングしていない場合



マップマッチングしている場合

本機は、GPS と自律航法を併用して精度の高い測位を行った上でマップマッチング機能が動作するため、より正確な現在地を表示することができます。

内蔵センサーによる測位とは

内蔵の車速パルスとジャイロセンサーを使って測位します。走った距離を車速パルスで、曲がった方向をジャイロセンサーで検出して現在地を割り出します。

3D センサーについて

内蔵の3D センサーによって、道路傾斜や自車の高さの変化を測定しています。これにより、ランプ等で道路が上下に分離したときに、地図データの高さ情報をもとに、どちらにいるかを判定します。高さ情報があるのは、高速道路 / 国道 / 県道などの全国主要道です。高さ情報がないところでは、判定されません。高さ情報があるところでも、道路形状や走行状況によっては、正しく判定できないことがあります。

誤差について

本機は、GPS と自律航法を併用した精度の高い測位に加えて、さらにマップマッチング機能を動作させて誤差を最小限にしております。しかし、さまざまな条件や状況によって、これらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることもあります。

■ GPS 測位不能によって生じる誤差について

- 1) 次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波が遮断されて電波を受信できないため、GPS による測位ができないことがあります。
 - トンネルの中やビル内の駐車場
 - 2 層構造の高速道路の下
 - 高層ビルなどの間
 - 密集した樹木の間
- 2) GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている場合、電波障害の影響で一時的に GPS 衛星からの電波を受信できなくなるため、GPS による測位ができないことがあります。
- 3) 3 基以下の GPS 衛星の電波しか受信できない場合は、GPS による測位はできません。

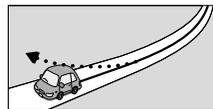
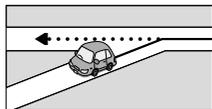
■ GPS 衛星自体の原因により生じる誤差について

- 1) 電波を受信している GPS 衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、十分な精度が得られないことがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 2) GPS 衛星による測位では、高さ方向の精度は、水平方向と比べると誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

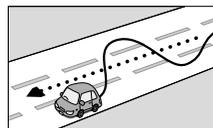
その他の誤差について

以下に示す状況の場合も、測位の誤差が大きくなります。

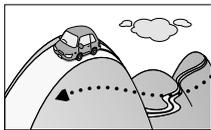
角度の小さい Y 字路を走
行した場合
直線や緩やかなカーブを、
長距離走ったすぐ後



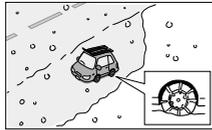
砂利道や雪道などで、タ
イヤがスリップした場合
蛇行運転をした場合



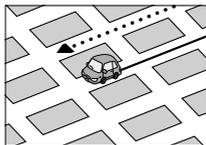
勾配の急な山道や、高低差のある道路を走行した場合



チェーンを装着したときや、タイヤを交換した場合

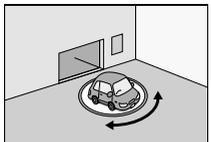


暮盤の目状の道路を走行した場合

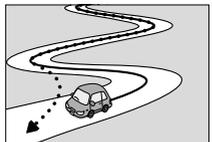


- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合
- 地図と実際の道路形状が異なる場合

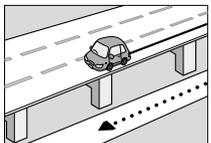
駐車場などのターンテーブルで旋回した場合



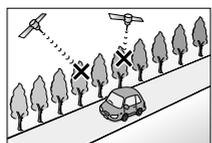
ヘアピンカーブが続いた場合



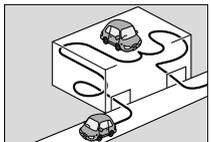
高速道路と側道などが隣接している場合



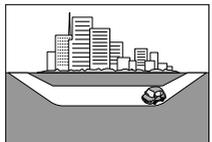
GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合



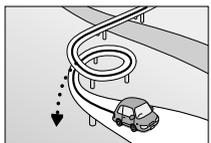
立体駐車場などで、旋回や切り返しを繰り返した場合



地下駐車場やトンネルなど、GPS衛星による測位が長時間できない場合



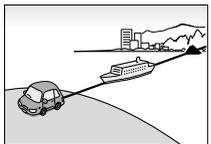
ループ橋などを走行した場合



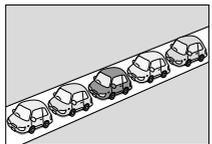
地図データにはない、新設道路を走行した場合



フェリーや車両運搬車などで移動した場合



渋滞などで、低速で発進や停車を繰り返した場合



低速時の測位精度について

車種によっては、時速数 km 程度の低速時に、車速パルス信号が出力されないものもあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場などで時速数 km 程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されない場合があります。

地図の道路データについて

地図画面に道路が表示されていても、その道路をルート探索できない場合があります。そのような道路にはマップマッチングもできない場合があります。

準天頂衛星について

従来の GPS 衛星からの信号に加え、準天頂衛星からの信号を受信することで、山間部やビル街でも測位精度を向上することができます。

地図記号の凡例

画面に表示される地図では、次の地図記号を使用しています。

記号	名称	記号	名称	記号	名称	記号	名称
	信号機		海水浴場		高専		展望台
	都道府県庁舎		ゴルフ場		高校	サービスエリア (SA) パーキングエリア (PA)	
	市特別区庁舎		スキー		中学校		IC
	町村指定都市区庁舎		キャンプ		小学校		スマートIC
	官庁公共施設		遊園地		その他学校		SA
	警察		動物園		保健所		PA
	消防		公園		税務署		JCT
	学校		ホテル		発電所		IC/JCT (併設)
	郵便局		スタジアム		裁判所		IC/SA (併設)
	病院		スポーツ施設		灯台		IC/PA (併設)
	デパート/スーパー		植物園		スマートIC		SA/JCT (併設)
	カー用品店		美術館		その他の目的物		PA/JCT (併設)
	IC		博物館		NTT		料金所
	SA		水族館		サッカー		スマートIC
	PA		図書館		テニスコート		ガソリンスタンド
	パーキング		テーマパーク		ディスカウントストア		レストラン
	工場		城・天守閣		ビルアパート名称		スナック
	飛行場		展望タワー		道の駅		ショッピング
	フェリー		温泉		ヘリポート		ハイウェイオアシス
	港		山頂		乗馬		インフォメーション
	料金所		自衛隊		乗馬		休憩所
	マリーナ		墓地		体育館		ハイウェイ情報ターミナル
	史跡名勝		ボウリング場		牧場		ベビーコーナー
	城跡		サッカー		ホール		ドッグラン
	神社		競馬場ウインズ		自動車学校		障害者用トイレ
	寺院		トンネル		自転車学校		ATM
	教会		船着場 (観光船等)		トンネル		トイレ
			大学		野球場		
			短大				



- 表示されるマークの位置は、実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示されることもあります。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・
ビジュアル

設定・情報

Bluetooth

internavi

オプション

付録

地図データベースについて

- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。©2017 一般財団法人日本デジタル道路地図協会（測量法第 44 条に基づく成果使用承認）[2019 年 3 月発行データ使用]
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 H・1 - No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。（承認番号 国地企調第 180 号 平成 22 年 9 月 28 日）
- このデータは、国土地理院の技術資料 C1-No.445「小笠原諸島西之島周辺の正射画像（平成 26 年 12 月 10 日撮影）」を利用して作成したものである。
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 5 千分 1 国土基本図を使用した。（承認番号 平 30 情使、第 256 号 -46 号）
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地図情報）、数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地名情報）及び基盤地図情報を使用した。（承認番号 令元情使、第 320 号 -46 号）
- 上記以外の本地図データの権利関係については、下記ページをご確認ください。
URL : http://www.incrementp.co.jp/aboutmap/2020_1.pdf

■交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、2019 年 9 月現在のものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従って下さい。

■駐車場データについて

- 駐車場データは、2020 年 4 月 1 日まで対応する。但し、2019 年 11 月時点の独自調査で取得できた情報までに限ります。
- タイムズデータについては、パーク 24 株式会社が提供するリストに準拠し、2019 年 11 月時点で取得できた情報までに限ります。

■タウンページ/ハローページデータについて

- タウンページデータは、NTT タウンページ株式会社が提供する 2019 年 9 月現在のデータを収録しています。
- 訪問宅（個人宅）電話番号データ（ハローページデータ）は、日本ソフト販売株式会社が提供する「Bellemax®」2019 年 9 月現在のデータを収録しています。
- もとのデータそのものが、実際の位置と異なる場合があります。
- 一部のデータでは、ピンポイント検索できない場合があります。その場合、その地区の代表地点が表示されます。

■住所データについて

- 住所データについては 2019 年 10 月時点の住所マスターデータを使用します。
- 市区町村合併については、2020 年 4 月 1 日施行分まで対応しています。但し、2019 年 10 月時点で取得できた情報までに限ります。

■郵便番号データについて

- 郵便番号データは、2019 年 10 月時点のデータを使用しています。
- 大口事務所・私書箱については、2019 年 10 月時点のデータを使用しています。

■料金データについて

- 高速道路（有料道路を含む）料金データは、2019年9月調査で2020年4月1日時点の軽自動車・中型自動車・普通自動車のデータです。

■放送局リストのデータについて

- 放送局リストのデータは2020年3月現在のものです。
- 放送局の開局、廃局、名称変更、周波数（チャンネル）変更が行われた場合は、実際の内容と表示が異なる場合や、受信できない場合があります。

■施設情報および個人情報（電話番号）について

- 電話番号検索は、ホームページおよびタウンページのデータを使用しています。
- これらの情報は本ソフト作成後、変更されている場合があります。
- 本ソフトに格納されるあらゆるデータ、個人情報については、購入者の責任において使用するものとし、当社は何らの責を負いません。また、これらの情報に誤りがあった場合でも、当社は何らの責を負いません。なお、個人情報の削除・掲載・修正に関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

■注意事項

- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。
- 収録するデータはその正確性を保証するものではありません。データ内容の誤りに対して、取替え、代金の返却はいたしかねます。
- 本データを使用したことによって生じたお客様および第三者のいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねます。
- ©2017（一般財団法人）日本デジタル道路地図協会
- ©2020 INCREMENT P CORPORATION

ソフトウェア使用許諾契約書

【本製品をご使用前に必ずお読みください】

このナビゲーション製品本体（以下、「本システム」）および同梱品（併せて、以下、「本製品」）には、株式会社JVCケンウッド（以下、「ライセンサー」）のソフトウェア、および/または複数のソフトウェアライセンサー（以下、「ソフトウェア供給者」）から当社に対して許諾されたソフトウェア（併せて、以下、「許諾ソフトウェア」）が含まれています。許諾ソフトウェアは、ソフトウェアに関連する書類、マニュアルその他の印刷物を含みます。書類および印刷物は、オンラインまたは電子媒体で供給するものを含みます。

お客様（以下、「使用者」）は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、本製品をご使用いただくものと致します。

使用者が本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的にまたは間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

【使用許諾契約書】

第1条（総則）

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ第3条第1項に定める例外を除き譲渡不能な使用権を使用者に許諾します。

第2条（使用権）

1. 本契約によって生ずる使用権とは、許諾ソフトウェアを本製品で使用する権利をいいます。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的と否に関わらず、いかなる目的でも頒布することができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。また、指定PCへのネットワーク接続を用いて、使用者以外の第三者にこれを使用させることは許されていません。

第3条（許諾条件）

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用権については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

第4条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用、再許諾を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条（ライセンサーの免責）

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第6条（第三者に対する責任）

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第7条（秘密保持）

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第8条（契約の解除）

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第9条（許諾ソフトウェアの廃棄）

前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第10条（著作権保護）

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び現権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びその関連の法律に従うものとします。

第11条（輸出規制）

1. 許諾ソフトウェアを日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法（アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます）に従うことに同意するものとします。

第12条（その他）

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。
4. 本契約書の各条項は、代わりに契約書が提供されない限り、許諾ソフトウェアのバージョンアップ後のソフトウェアにも適用されるものとします。

以上

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに株式会社 JVC ケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、株式会社 JVC ケンウッド及び第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public License または Lesser General Public License（以下、「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。

当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス

<https://www.kenwood.com/gpl/j.html>

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、予め御承ください。

「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及び株式会社 JVC ケンウッド自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。

適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守しただけかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは株式会社 JVC ケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を本製品に掲載します。

掲載場所は「設定 / 情報」— [システム] — その他内の「オープンソースライセンス」です。

VICIS について

VICIS サービスの問い合わせ

VICIS サービスに関するお問い合わせについては、内容によって次の問い合わせ先にご連絡ください。

- VICIS 関連商品、VICIS 情報の受信エリアや内容の概略、地図表示の内容に関するご質問は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
- VICIS の概念、計画、または表示された情報内容に関するご質問は VICIS センターへお問い合わせください。（ただし、地図表示の表示内容は除く）

<お問い合わせ先>

VICIS センター

電話番号

0570-00-8831

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※ PHS、IP 電話等からはご利用できません。

電話受付時間

9:30 ~ 17:45

（但し土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く）

FAX 受付時間 24 時間

FAX 番号（全国）03-3562-1719

- VICIS の最新情報について

VICIS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などは、下記ホームページをご覧ください。

インターネット URL <https://www.vicis.or.jp/>

VICIS リンクの更新について

VICIS センターでは、レベル 3 の情報の収集と提供に、VICIS リンク（主要交差点毎に道路を区切った単位）というデータ方式を採用しています。道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況が変化する場合は、VICIS リンクの追加や変更を行って、適切な情報を提供できるようにしています。

この結果、新しい VICIS リンクによる情報の提供が行われると、変更前の VICIS リンクでは情報が提供されなくなります。ただしユーザに対する情報提供サービスを維持するため、変更前の VICIS リンクに対しても変更後 3 年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。



- VICIS リンクの更新は、地図データの更新が必要です。

VICIS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章 総則

（約款の適用）

第 1 条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICIS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICIS 情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第 2 条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICIS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第 3 条 この約款においては、次の用語はそれぞれの意味で使用します。

- (1) VICIS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICIS サービス契約
当センターから VICIS サービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターと VICIS サービス契約を締結した者
- (4) VICIS デスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章 サービスの種類等

（VICIS サービスの種類）

第 4 条 VICIS サービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICIS サービスの提供時間）

第 5 条 当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICIS サービスを提供します。

第 3 章 契約

（契約の単位）

第 6 条 当センターは、VICIS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICIS サービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第 7 条 VICIS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICIS サービスを利用することができない場合があります。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 1. 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは、当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2. VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができません。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]

視聴料金 330円(税込み)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

- 本機器で提供している道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)の技術が用いられています。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 1. 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することができます。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2. 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 1. 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

2. 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

メディアおよびファイルについて

ご使用上の注意事項

- USB 機器や SD カードは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因になります。
- 本機で再生するオーディオ / ビデオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ事態で、ファイルが破壊される場合があります。

本機で再生できるディスクメディア

● ディスク再生対応一覧表

分類	規格	対応	説明	
DVD	DVD ビデオ	○	—	
	DVD オーディオ	×	—	
	DVD-R	○	VR モード対応 (DVD-R/RW のみ) CPRM 対応	
	DVD-RW	○		
	DVD+R	○		
	DVD+RW	○		
	DVD+R DL (2層)	○		
	DVD-R DL (2層)	○		
	DVD-RAM	×		—
	音楽 CD	○		8cm ディスク非対応
CD-ROM	○	—		
CD	CD-R	○		パケットライト非対応
	CD-RW	○		
	DTS-CD	×	—	
	ビデオ CD、スーパービデオ CD	×	—	
	フォト CD	×	—	
	HDCD	△	通常の音楽 CD の音質	
	CCCD	×	—	
	その他	デュアルディスク	×	—
スーパーオーディオ CD		△	CD 層のみ再生可能	

○：再生できます

△：一部のみ再生できます

×：再生できません

- 「Blu-spec CD」、 「Blu-spec CD2」 は再生することができます。

再生できるディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1/ISO 9660 Level 2/
Joliet/UDF 1.02/1.50/2.00/2.01/2.50

使用できないディスク

以下のディスクは使用しないでください。



- 記録面（レーベル面の反対側）に着色や汚れがあるディスク。引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱いください。
- ファイナライズ処理を行っていない CD/R/RW および DVD-R/RW は再生できません（ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください）。そのほかにも、記録状態によっては再生できない場合があります。汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク。音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。
- 表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

ディスクのご使用上の注意

- ディスクが汚れたときは、従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に「バリ」がないことを確認してください。「バリ」がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。「バリ」があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。
- 8cmCD、8cmCD アダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

DVD のリージョン番号

本機で再生できる DVD リージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または 2 を含むもの）と「ALL」です。

DVD ディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

本機で再生できる SD カード

規格	SD/SDHC/SDXC*1
最大容量	2GB(SD)/32GB(SDHC)/2TB(SDXC)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT*2

*1：MMC(MultimediaCard)には対応していません。

*2：この他のファイルシステム (NTFS 等) には対応していません。

- SD スピードクラスは Class 10 まで対応しています。

SD カード使用上のご注意

- miniSD カード、microSD カードは SD カードアダプターを使用することで使用可能ですが、すべてのカードの動作保証はしていません。
- ご使用の際には、必ず SD カードに付属している取扱説明書も合わせてご確認ください。
- 本機で使用出来ない場合は、ファイルシステムが FAT16、FAT32 または exFAT であることを確認してください。ファイルシステムが異なる場合は、再フォーマットしてから使用してください。
- 本機は SD-Audio には対応していません。
- 全ての SD カードに対して、動作を保証するものではありません。
- SD カードの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- SD カード内のデータは必ずバックアップをしてください。本機の故障、誤動作、不具合により、あるいは SD カードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存内容が失われたことによる損害については、弊社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

音楽 CD を録音するときの SD カードについて

- 本機で音楽 CD を録音するときは、本機専用 SD カード (8GB) を使用してください。専用 SD カードはお買い上げ時、本機に挿入されています。

- 市販されている SD カードなど、専用 SD カード以外の SD カードについては、設計上は使用することはできませんが、動作保証はいたしません。また SD カードの種類によっては、正常に録音できない場合があります。

本機で再生できる USB 機器

規格	USB1.1/2.0*1
デバイスクラス	マストレージクラス (MSC device) *2
最大消費電流	1A 以下
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT*3

*1：USB3.0 には対応していません。

*2：使用する USB デバイスが USB マストレージクラスに対応しているかは、USB デバイスの販売メーカーにお問い合わせください。

*3：この他のファイルシステムには対応していません。

USB 機器使用上のご注意

- 接続した USB デバイスは運転の支障とならないように設置してください。
- USB ハブを介して USB 機器を接続しないでください。
- マルチカードリーダーを使用する場合は、複数のメモリーカードを挿さないでください。
- セキュリティ機能付きの USB デバイスは使用できません。
- USB 規格外のケーブルは動作保証できません。また、延長ケーブルの使用により正常に再生できない場合があります。
- USB デバイスの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- 全ての USB デバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
- USB デバイスのデータは必ずバックアップをしてください。USB デバイスの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、弊社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- WALKMAN® デジタル接続には対応していません。

本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット

コーデック	メディア	CD	DVD	USB	SD
オーディオファイル	MP3	○	○	○	○
	WMA	○	○	○	○
	AAC	○	○	○	○
	WAV	○	○	○	○
	FLAC	○	○	○	○
	Vorbis	○	○	○	○
ビデオファイル	MPEG-4 Video	×	×	○	○
	H.264/MPEG-4 AVC	×	×	○	○
	WMV	×	×	○	○

○：再生できます ×：再生できません

著作権保護されたファイルについて

本機では、コピープロテクトや著作権管理が設定されているオーディオファイルは、再生できません。個人的に楽しむなどの場合を除き、音楽や映像などの著作物を著作権所有者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

オーディオファイル

	MP3	WMA	AAC	FLAC	Vorbis	WAV
対応形式	MPEG 1/2 Audio Layer 3	Windows Media Audio Standard L3 profile (Version 7,8,9)	MPEG2/4 AAC LC, HE-AAC (V1,V2)	flac	vorbis	RIFF waveform Audio Format (Linear PCMのみ)
拡張子	.mp3	.wma	.m4a	.flac, .fla	.ogg	.wav
量子化ビット数	16bit	16bit	16bit	16bit/24bit*1	16bit	16bit/24bit*1
ビットレート	8k ~ 320kbps, VBR	8k ~ 320kbps	8k ~ 320kbps, VBR	-	VBR	-
サンプリング周波数	16k ~ 48kHz	16k ~ 48kHz	16k ~ 48kHz	16k ~ 192kHz*2	16k ~ 48kHz	16k ~ 192kHz*2
タグ	ID3 タグ ver 1.0/1.1/2.2/2.3/2.4 (ID3v2 の非同期化は非対応)	WMA タグ	iTunes m4a メタデータ	Vorbis Comment タグ	Vorbis Comment タグ	RIFF LIST タグ
その他	ジョイントステレオ対応	DRM/ Professional/Lossless/Voice は非対応	iTunes で作成した AAC ファイルのみ再生可能 DRM/ マルチチャンネルは非対応	圧縮レベル：0 ~ 8 マルチチャンネルは非対応	マルチチャンネルは非対応	マルチチャンネルは非対応

*1：16bit 相当で再生します。

*2：CD メディアは 48kHz まで対応。48kHz 以上のファイルは、48kHz 相当で再生します。

※タグの文字数は全角 80 文字まで対応しています。それ以上の文字数では、文字列の後ろ部分が表示されない場合があります。

※オーディオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。

※本機で表示できるアルバムアートワーク画像は、サイズが 650KB 以下のファイルです。

ビデオファイル

	MPEG-4 Video			H.264/MPEG-4 AVC				WMV	
対応形式	ISO MPEG4			H.264/MPEG-4 AVC				Windows Media Video Ver.9(VC-1)	
ファイル コンテナ	AVI	MP4	MKV	AVI	MP4	FLV	MKV	ASF	MKV
拡張子	.avi	.mp4	.mkv	.avi	.mp4	.flv, .f4v	.mkv	.wmv	.mkv
プロファイル	アドバンスドシンプル プロファイル			ベースラインプロファイル、 メインプロファイル				メインプロファイル	
対応音声 コーデック	MP3, AAC		MP3, AAC, WMA, Vorbis, FLAC	MP3, AAC			MP3, AAC, WMA, Vorbis, FLAC	WMA	MP3, AAC, WMA, Vorbis, FLAC
最大ピク チャサイズ	1920 × 1080			1920 × 1080				1920 × 1080	
最大フレ ームレ ート	30fps			30fps				30fps	
最大ビット レート	8Mbps			8Mbps				8Mbps	

※ ビデオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。
 ※ ビデオファイルのビットレートが高い場合は、部分的に再生が停止したり、音飛び / 音切れをすることがあります。

(1) ファイル名とフォルダ名

本機で表示できる文字：

半角英数文字、半角カタカナ、全角文字

文字数制限：

ファイル名 全角 80 文字（拡張子は除く）
 フォルダ名 全角 80 文字
 ※ ファイル名またはフォルダ名が文字数制限を超えているファイルは再生できません。
 ディスクの場合は使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、文字数が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

使用できない文字：

¥、\、/、:、*、?、"、<、>、|
 ファイルには正しく拡張子を付けてください。
 ディスクの場合は使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、表示できる文字が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

(2) ファイル数とフォルダ数の制限

ディスク：

- 1 フォルダ内の最大ファイル数：999
- ディスク内の最大ファイル数：5000
- ディスク内の最大階層数：8（ルートを含む）
- ディスク内の総フォルダ数が 500 以上の場合は、ディスク内の一部のファイルを認識できない場合があります。

USB 機器および SD カード：

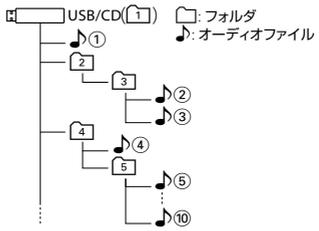
- 1 フォルダ内の最大ファイル数：9999
- 1 フォルダ内の最大フォルダ数：9999

USB 機器 / SD カード内の最大階層数：
 8（ルートを含む）

- 階層数、フォルダ名、ファイル名が最大数を超える場合は認識できません。
- デバイス内の最大フォルダ数 / 最大ファイル数に制限はありませんが、デバイスの容量やファイルシステムによって制限を受ける場合があります。

(3) 再生する順番について

ファイル名の昇順
 ファイル名の頭に "01" ~ "99" など再生する順番を入力してから CD-R などに書き込むことで再生する順番を設定することができます。下図の例では、①から⑩の順で再生されます。



(4) ご使用上の注意事項

- ディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。再生するディスクに多くのフォルダ、オーディオファイル、ビデオファイル以外のファイルを書き込むと、再生するまで時間がかかることがあります。また、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

iPodについて

本機でコントロールできる iPod について

2020年3月現在

○：可能 ×：不可

iPod / iPhone モデル名	ソフトウェア バージョン (iOS)	Dock ケーブルで接続	
		音楽再生	Lightning ケーブルで接続 音楽再生
iPhone 11 Pro Max	13.3.1	×	○
iPhone 11 Pro	13.3.1	×	○
iPhone 11	13.3.1	×	○
iPhone XR	13.3.1	×	○
iPhone XS Max	13.3.1	×	○
iPhone XS	13.3.1	×	○
iPhone X	13.3.1	×	○
iPhone 8 Plus	13.3.1	×	○
iPhone 8	13.3.1	×	○
iPhone 7 Plus	13.3.1	×	○
iPhone 7	13.3.1	×	○
iPhone SE	13.3.1	×	○
iPhone 6s Plus	12.4.5	×	○
iPhone 6s	12.4.5	×	○
iPhone 6 Plus	12.4.5	×	○
iPhone 6	12.4.5	×	○
iPhone 5s	12.4.5	×	○
iPod touch (第7世代)	13.3.1	×	○
iPod touch (第6世代)	12.4.5	×	○



- iPod/iPhone は最新のソフトウェアバージョンを Apple 社のホームページよりインストールしてご使用ください。
- ※最新のソフトウェアバージョンでない場合、正しく動作できない場合があります。
- ソフトウェアのバージョンにより、本機接続中でも iPod/iPhone 側の操作ができる場合がありますが、正しく動作しない場合がありますので iPod/iPhone 側で操作しないでください。
- iPod/iPhone の機種、バージョンによっては一部機能の制限があります。
- 使用する音楽アプリケーションによっては、本機から操作できなったり、正しく動作しない場合があります。
- ソフトウェアのバージョンは iPod/iPhone 本体の "情報" よりご確認ください。
- 各 iPod/iPhone の仕様は iPod/iPhone をお取り扱いの販売店へお問い合わせください。

使用上のお願い

- iPod/iPhone を車内に放置しないでください。直射日光や高温などによって iPod/iPhone の故障の原因となります。
- iPod/iPhone のユーザガイドもあわせてご確認ください。
- 本機への接続前と取り外し後で、iPod/iPhone のリピートやシャッフルなどの設定が変わる場合があります。
- iPod touch/iPhone を接続して使用する際は iPod touch/iPhone 本体側のアプリケーションを終了させてから使用してください。音飛びや誤動作の原因になる場合があります。

Bluetooth について

Bluetooth 対応プロファイル

本機は、以下のプロファイルに対応しています。

- HFP (ハンズフリープロファイル)
ハンズフリー通話するためのプロファイルです。
- PBAP (フォンプックアクセスプロファイル)
電話帳のデータを vCard 形式で伝送するプロファイルです。
- A2DP* (高度オーディオ配信プロファイル)
オーディオプレーヤーの音楽を伝送するためのプロファイルです。
- AVRCP (オーディオ / ビデオリモート制御プロファイル)
オーディオプレーヤーの再生や選曲などをコントロールするためのプロファイルです。
- SPP (シリアルポートプロファイル)
Bluetooth 機器を仮想シリアルポート化するプロファイルです。

Bluetooth 標準規格 Ver.3.0 準拠

* SCMS-T 対応

(SCMS-T とは A2DP に対応したオーディオプレーヤーなどでセキュリティがかかったコンテンツを聴くことができる機能です。)

対応コーデック

SBC、AAC



- Bluetooth 機能搭載機器は、Bluetooth SIG が定めている方法で Bluetooth 標準規格に適合していることの認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては通信できない場合があります。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・
ビジュアル

設定・情報

Bluetooth

internavi

オフライン

付録

ETCについて

ETCとは

インターチェンジやランプなどの料金所では、一旦、停車して通行料金を支払います。これは、現在の有料道路利用において、一般的な通行料金の支払い方法となっています。しかし、このような料金所通過時における一時停止は、交通の流れを妨げ、渋滞発生の一因ともなっています。実際、料金所を通過する際に、渋滞で待たされることは少なくありません。ETC(ノンストップ自動料金支払いシステム)は、ETC対応車線に設置されたアンテナとETC車載器間の無線通信により、現金、クレジットカードなどの受け渡しを行わずに、自動的に料金支払いができるシステムです。

ETCによって、料金支払いにかかる時間が短縮されるため、料金所通過時における渋滞の軽減が期待されています。通行料金は、有料道路利用時の記録をもとに請求され、後日、金融機関などから引き落とされます。

※ ETCに対応した料金所は、今後、順次拡大していく予定です。

ETCを利用するには

ETCをご利用になるには、ETC車載器のほかに、クレジット会社が発行するETC専用のカードが必要になります。カードの発行は、カード会社の審査・条件を満たしている必要があります。詳しくは、各カード会社へお問い合わせください。

また、ETCをご利用になるときの事前準備、ご利用時の諸注意、および取扱い方法については、ETC車載器に添付の説明書をご覧ください。

必ず、ETCシステム利用規定等をお読みください。

ETCシステム利用規程、ETCカードの利用約款などに、ご利用上の注意事項が記載されています。ETCのご利用前に、必ずお読みください。

※利用規定等は、道路事業者の「供用約款」と合わせて「約款」となりますので、遵守事項については必ずお守りください。



- ETCゲートでは、何らかの理由で先行車両が停車することがあります。ゲート通過時は速度を落として、開閉バーが開いたことを確認し、周囲の状況を確認しながら安全に走行してください。
- ご利用時はETCカードが挿入されているかどうか確認してください。
- 車を離れるときは、ETCカードを車内に放置しないでください。故障、変形、盗難のおそれがあります。
- ETCカードをETC車載器に入れたまま、バッテリーを外さないでください。
- システム作動中はETC車載器内の温度が上昇します。そのため、ETCカードの表面も温かくなりますが、故障ではありません。
- ETCレーンの表示を「OFF」(→P.106)に設定している場合はETCレーンは表示されません。また、ETCレーンは何らかの理由で変更されることがあります。ETCレーンを確認し、周囲の状況を確認しながら安全に走行してください。

■ 予告案内について

- ETCの利用ができないときは、「ETCが利用できません」とETC車載器から予告案内を音声と表示でお知らせします。また、ETCの利用が可能なときは、受信音でお知らせします。
- 予告案内は料金所に予告アンテナ/ETC予告アンテナが設置されている場合のみ表示されます。

初期設定一覧

本機のお買い上げ時の設定は以下になります。

■ ナビ設定

● 地図

項目	設定
地図色／文字サイズ	地図色：1
	文字サイズ：大
	昼夜切替：自動
ランドマーク表示	パターン1：カーディーラー：Honda Cars、U-Select
登録地点表示	表示オン(全ての登録地点を表示)
VICS 情報表示	渋滞／混雑線の表示：高速道表示する
	渋滞／混雑線の表示：一般道表示する
	順調線の表示：高速道表示しない
	順調線の表示：一般道表示しない
	規制情報の表示表示する
	駐車場情報の表示表示しない
自転車マーク	
走行軌跡の表示	ON
地図の向き	ヘディングアップ
地図の向き(小画面)	ヘディングアップ
フライビューマップ表示	ON
マップコードの表示	ON
緯度・経度の表示	ON
盗難多発地点表示	ON
冠水注意地点表示	ON

● 案内

項目	設定
案内音声の音量	10
案内音声音量の車速連動	ON
案内警告音の出力	ON
ルート案内音声の出力	ON
合流／踏切／車線案内音声の出力	常に ON

項目	設定
盗難多発地点音声案内	ON
進入時逆走注意喚起	ON
起動時逆走注意喚起	ON
レーン情報の表示	ON
方面看板の表示	ON
高速道分岐イラストの表示	ON
交差点案内図の表示	ON
ETCレーンの表示	ON
AV画面時の地図割り込み	ON
目的地方向表示	ON
ルート学習	ON

● 探索

項目	設定
優先する探索条件	internavi ルート
internavi ルート探索条件	スマートルート
道幅の広い道路	優先する
スマートICを利用した探索	OFF
フェリーを利用した探索	OFF
渋滞を考慮したオートリルート	ON

● ETC

項目	設定
ETC 音声の出力	ON
ETC 料金の表示	ON
ETC カード入れ忘れ警告	ON
表示割り込み時間	5 秒
ETC2.0 受信音	ON
ETC2.0 図形情報割り込み	ON
ETC2.0 文字情報割り込み	OFF
ETC2.0 音声自動再生	ON
ETC2.0 アップリンク	ON

■ サウンド設定

項目	設定
車両タイプ	選択しない
リスニングポジション	全ての座席
イコライザー	0
バランス	センター
フェーダー	センター
Drive Equalizer +	ON
バスブースト	OFF

項目	設定
スペースエンハンサー	OFF
サウンドライザー	OFF
リアライザー	ON
ソースレベル調整	全ソース 0

Bluetooth 設定

項目	設定
Bluetooth	ON
PIN コード	0000
ナビのデバイス名	Gathers
オートペアリング	ON
着信の自動応答	OFF

システム設定

● 音量

項目	設定
スターターボリューム	動作しない
電話送話音量	11
電話受話音量	15
電話発着信音量	15

● 表示

項目	設定
画面の明るさ	イルミ OFF : 0 イルミ ON : 0
映像画面の時計表示	ON
映像画面以外の時計表示	ON

● カスタマイズ

項目	設定
オプションボタン	(割り当てなし) フロントカメラ接続時 : フロントカメラ切替
ショートカットボタン	ショートカット 1: 自宅に戻る ショートカット 2: 友達マップ ON ショートカット 3: 友達マップ全体表示 ショートカット 4: ドライブレコーダー録 画 ショートカット 5: ドライブレコーダー静 止画撮影 ショートカット 6: 昼夜切替

● 車両

項目	設定
車両ナンバー	5・7
リアカメラ次回表示ビュー	前回表示ビューと同じ
フロントカメラ自動表示 モード設定	登録地点連動
フロントカメラインジケータ 表示	ON
後退駐車サポート	(リアカメラ de あんしん プラス 2) ON (リアカメラ de あんしん プラス 3) かんたん駐車ガイド
後退出庫サポート	ON
後退出庫サポート警報頻度	高い
後方死角サポート	ON
車線キープサポート	ON
後方車両お知らせ	ON
後方車両お知らせ開始速度	60 km/h
後方車両お知らせ検知範囲	標準
運転支援警報音	中
運転支援お知らせ音声	ON
運転支援お知らせ音声音量	10
パーキングセンサー表示割 り込み	ON

● その他

項目	設定
セキュリティ	ON
セキュリティインジケータ	ON
操作音の出力	ON
iPhone との接続方法	USB
表示言語	日本語
音声言語	日本語
Gracenote データベース	アップデートメディア 選択 : SD

■ 情報

項目	設定
VICS 情報	FM 選局モード : 自動
NaviCon 友達マップ	友達マップ表示 : OFF

■ 音量調整

項目	設定
AV 音量	3
交通情報音量	3
ドライブレコーダー 映像音量	3

■ 画質調整

項目	設定
ブライトネス	イルミ OFF : 0 イルミ ON : 0 (DVD、SD、USB、TV、リアカメラ、フロントカメラ、ドライブレコーダー)
コントラスト	イルミ OFF : 0 イルミ ON : 0 (DVD、SD、USB、TV、リアカメラ、フロントカメラ、ドライブレコーダー)
色の濃さ	イルミ OFF : 0 イルミ ON : 0 (DVD、SD、USB、TV、リアカメラ、フロントカメラ、ドライブレコーダー)
色合い	イルミ OFF : 0 イルミ ON : 0 (リアカメラ、フロントカメラ、ドライブレコーダー)
アスペクト	DVD : オート SD : オリジナル USB : オリジナル



• TV、カメラ、ドライブレコーダーは画面表示サイズ（アスペクト）の設定はできません。

■ FM/AM/ 交通情報

項目	設定
FM 周波数	76.0MHz
AM 周波数	522kHz
交通情報	1620kHz
プリセット	エリア
FM プリセット周波数 (お気に入り 1/2)	76.0/78.0/80.0/83.0 /86.0/90.0/76.0/76.0 (MHz)
AM プリセット周波数 (お気に入り 1/2)	522/603/999/1404/ 1629/1629/522/522 (kHz)

■ TV

項目	設定
プリセット	エリア
映像	映像 1

項目	設定
字幕	表示 OFF
文字スーパー	第一言語
受信モード切替	自動切替
1Seg / 12Seg 自動 切替設定	標準
中継局 / 系列局サーチ	自動切替 (中継局+系列局)
バックグラウンドサーチ	ON

■ DVD

項目	設定
メニュー言語	日本語
音声言語	英語
字幕言語	日本語
ダイナミックレンジコ ントロール	ダイアログ

■ CD

項目	設定
録音設定	手動録音
録音音質	標準 (128kbps)

■ SD/USB

項目	設定
リポート設定	ALL
ランダム設定	OFF

■ internavi

項目	設定
フローティングカー情報 提供	ON
ルート案内時連動取得	全ての情報
図形情報割り込み	ON
情報センターからの音声 割り込み	ON
internavi 音声の音量	10
internavi ウェザー設定	気象警戒エリアの表示 : ON 気象予報アイコンの表示 : ON 気象情報割り込み表示 : ON
internavi システム設定	情報取得設定 : 常時通信

故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、Honda 販売店にご相談ください。

● 共通

症状	考えられる原因	対処方法
電源がオンにならない。	車両のヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、エンジンスイッチをオンにしたときに、通常より暗い場合があります。エンジンスイッチをオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画面の明るさが暗い設定になっている。	画面の明るさを調整してください。(→ P.30)
画面が見にくい。	見る角度によって画面の明るさ、色、画質が変わります。	画面の明るさ、映像の画質を調整してください。(→ P.30、P.70)
映像の色調がおかしい。	—	画質を調整してください。(→ P.70)
カメラ映像に切り替わらない。	カメラが正しく接続されていない。	Honda 販売店で、正しく接続してください。
音が出ない / 音が小さい。	バランス、フェーダーが片方に寄っている。	バランスやフェーダーを正しく調整してください。(→ P.110)
音質が悪い (音がひずむ)。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。

● ナビ機能

症状	考えられる原因	対処方法
市街地図を表示できない。	表示中の地域に市街地図がない。	—
ランドマークが表示されない。	地図のスケールが不適切。	ランドマーク情報が表示されるのは500m以下のスケールです。
地点登録できない。	すでに300か所が登録されている。	不要な登録地点を削除してください。(→ P.66)
経由地を設定できない。	すでに5か所が設定されている。	不要な経由地を削除してください。(→ P.60)
	目的地が設定されていない。	目的地を先に設定してください。
目的地が書き替えられた。	すでに目的地が設定されているときに、さらに目的地を設定した。	目的地を設定しなおしてください。
探索条件を変えてもルートが同じになる。	出発地と目的地の位置関係による。	出発地と目的地の位置関係によっては、同じになる場合があります。
住所検索で番地を指定できない。	地域によっては番地を指定できない場合がある。	付近を検索して、地図上で探してください。

症状	考えられる原因	対処方法
音声案内されない。	案内音声出力が“OFF”に設定されている。	案内音声出力を“ON”に設定してください。(→ P.106)
地点検索した場所が履歴に記憶されていない。	ルート探索していない。	ルート探索していない場所は記憶されません。
	履歴に記憶されたのが最近の100か所よりも古い。	履歴として記憶されるのは、100か所までです。
シミュレーションが目的地まで到達しない。	—	ルートの距離が長い場合は、目的地に到達せずにシミュレーションのスタート地点に戻ることがあります。
自車マークが走行中の道路と異なる道路上にある。	Y字路を通過したときに、実際と異なる道路にマップマッチングされた。	しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
	GPSアンテナの設置場所が悪い。	GPSアンテナの設置場所を確認して、アンテナの設置場所を変更してください。
自車マークが道路外や反対車線に表示される。	市街地図を表示している。	市街地図のまま走行すると、道路外に表示されてしまう場合があります。
VICISのレベル3(地図表示情報)が表示されない。	地図のスケールが不適切。	VICISの地図表示情報(レベル3)を表示できるのは、10m～1km(一般道は10m～400m、一般道の駐車場情報は10m～200m)のスケールです。
	—	VICISの受信状態が悪い場合は、表示できません。
	VICIS局からの電波を受信できていない。	自動選局に切り替えてください。(→ P.103)
夜の地図色が表示されない。	地図昼夜切替が“昼色に固定”に設定されている。	“自動”に設定してください。(→ P.107)
	イルミネーションコードが接続されていない。	Honda販売店で、正しく接続してください。
	—	イルミ減光キャンセル機能を操作してください。(→ P.21)
ナビゲーションの画面が表示されない。	ナビゲーション以外の画面になっている。	【現在地】 を押して現在地図画面に切り替えてください。(→ P.33)
	画面がオフになっている。	【現在地】 を押すか、画面にタッチしてください。(→ P.31)
表示中の地図画面が回転する。	地図の向きがヘディングアップに設定されている。	ヘディングアップに設定すると、地図を回転して、進行方向を常に上方向に表示します。
自車マークが動かない。	車速検出コードが接続されていない。	Honda販売店で、車速検出コードを正しく接続してください。
実際の道路と案内が違う。ランドマークの表示が実際と違う。	—	地図データ作成時期により、実際の道路状況と異なる場合があります。また、目印となるランドマークを省略して表示する場合があります。
検索結果が実際の場所と違う。	—	地図データの収録状態により、実際の場所と住所表示が異なる場合があります。
案内音声が小さい。	—	案内音量を大きくしてください。(→ P.106)
ルート案内中に到達予想時刻と距離が表示されない。	—	サービスエリアや駐車場に入ったときは表示されないことがあります。自車位置が案内ルート上に戻ると表示されます。

● AV 機能

症状	考えられる原因	対処方法
音質が悪い (音がひずむ)。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
映像が映らない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。
音量が勝手に大きくなる / 小さくなる	「Drive Equalizer+」の設定が ON になっている。	「Drive Equalizer+」の設定を OFF にしてください。(→ P.110)
	電力の消費を低減するために一時的に音量が小さくなっている。	安全な場所に停車して、セレクトレバーを「P」に入れる、もしくはエンジンを再始動後一定距離を走行してください。

● ファイル再生

症状	考えられる原因	対処方法
ファイルを再生できない。	フォーマットが、本機で再生できないフォーマットで記録されている。	再生できるフォーマットを確認してください。(→ P.210)
	ファイルに拡張子が付いてない。	正しい拡張子を付けてください。(→ P.210)
	ビデオファイルの作成ソフトによっては再生できない場合があります。	—

● ディスク再生

症状	考えられる原因	対処方法
ディスクの再生中に振動で映像や音が切れる。	取り付けが不安定になっている。	しっかりと取り付けなおしてください。なお、駐停車中でも音飛びする場合は、ディスクに原因があります。
ディスクを再生できない。	ディスクが裏返しになっている。	レーベル面を上にして入れなおしてください。
	ディスクに傷や汚れがある。	▲ を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
	本機内部が結露している。	ディスクを取り出し、しばらく放置 (約 1 時間) してから使用してください。
ファイルを再生中に音飛びする。	ディスクに傷や汚れがある。	▲ を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
ディスクがイジェクトできない。	ディスクがイジェクト途中で止まっている。	強制イジェクトを行ってください。(→ P.78)
ファイルの再生がはじまるまで時間がかかる。	ディスクに記録されているフォルダ / ファイル / 階層が多い。	最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、再生されるまで時間かかる場合があります。
CD-R、CD-RW が再生できない。	ファイナライズ処理を行っていない。	CD レコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いの CD-R/CD-RW ライティングソフトや CD-R/CD-RW レコーダーのマニュアルをご覧ください。
DVD の禁止マーク “⊗” が画面に表示されて、操作ができない。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作を行っている。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作をしたときは、禁止マークが表示されません。禁止マークの表示中は操作はできません。

症状	考えられる原因	対処方法
トラックなどの名称が正しく表示されない。	本機で表示できない文字が名称に含まれている。	本機では、半角英数字と日本語が表示できます。これ以外の特殊な文字は、表示できない場合があります。
CDのタイトルが表示されない。	楽曲情報が本機の Gracenote データベースにない。	<ul style="list-style-type: none"> ● Gracenote データベースを更新してください。 ● カスタムアップデートで楽曲情報を取得してください。 ● インターナビ・データ通信 USB を使ってタイトル情報を取得してください。

● TV

症状	考えられる原因	対処方法
何も受信できない。	アンテナが正しく接続されていない。	Honda 販売店にご相談ください。
	スキャンされていない。	チャンネルスキャンをしておいてください。(→ P.75)
字幕が表示されない。	字幕が放送されていない。	—
地上デジタル放送が受信できない。	車の場所が、地上デジタルテレビ放送の放送エリアではない。 受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	送信チャンネル変更(リパック)が行われた。	初期スキャンをしてプリセットを登録しておいてください。(→ P.75)
	「ホーム」または「お出かけ」に登録されている放送局が現在地周辺の放送局と合っていない。	再度、チャンネルをスキャンしてください。(→ P.75)
映像が乱れる。 映像が止まる。 音声が途切れる。	障害物や放送局からの距離等によって、受信状態が悪くなっている。	<ul style="list-style-type: none"> ● 見通しのいい場所に移動してください。 ● ワンセグに切り替えてください。
	ワンセグ / 12 セグを切り替えた。	受信モードの切替時に映像等の乱れが発生する場合がありますが、故障ではありません。

● iPod

症状	考えられる原因	対処方法
iPod が認識されない。	iPod 接続ケーブルが正しく接続されていないか、iPod が正しく動作していない。	iPod 接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。それでも iPod が認識されない場合は、iPod を再起動してください。
iPod の曲を再生できない。	コネクタが正しく接続されていない。	しっかりと接続してください。
音が歪む。	iPod の EQ 機能(イコライザー機能)がオンになっている。	オフにしてください。
iPod をコントロールできない。	iPod にヘッドフォンなどが接続されたまま、本機に接続した。	iPod を本機から取り外し、iPod からすべての機器を取り外してから接続しなおしてください。
	iPod が異常状態になっている。	iPod を本機から取り外し、iPod を再起動してください。

症状	考えられる原因	対処方法
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、iPodの再生を停止することをお勧めします。
iPodの充電ができない。	本機の電源が入っていない。	エンジンスイッチをオンにしてください。

● USB/SD

症状	考えられる原因	対処方法
USB 機器を認識しない。	USB コネクタが正しく接続されていない。	USB 機器や USB ケーブルのコネクタを確実に接続してください。
	USB 延長ケーブルが長いため、データの品質が悪くなっている。	USB 延長ケーブルを使用しないで接続してください。
USB 機器や SD カード内のオーディオ/ビデオファイルが再生できない。	オーディオ/ビデオファイルが本機で再生できるフォーマットで記録されていない。	再生できるフォーマットを確認してください。(→ P.210)
	ファイル名に使用できない文字が使われている。	次の文字はファイル名には使用できません。 ¥、\、/、:、*、?、"、<、>、 ファイル名を変更してください。
	フォルダ名またはファイル名が 81 文字以上になっている。	本機ではファイル名またはフォルダ名に文字数制限があります。 フォルダ名：全角 80 文字 ファイル名：全角 80 文字（拡張子は除く） 全角 80 文字以内に変更してください。

● Music Rack

症状	考えられる原因	対処方法
録音した SD カードが再生できない。	録音データ (audio.rec フォルダのデータ) を編集または変更した。	録音データ (audio.rec フォルダのデータ) を編集または変更すると、本機では再生できなくなります。編集や変更はしないでください。
	再生モードがパソコンで保存した SD カードの再生 (フォルダ再生) になっている。	再生モードを Music Rack (録音再生) に切り替えてください。
音楽 CD を SD カードに録音できない。	SCMS によるコピー制限がかかっている音楽 CD を録音しようとした。	コピー制限がかかっていない音楽 CD を使用してください。
CD を再生しても自動で録音されない。	録音管理が手動録音に設定されている。	録音管理を自動録音に設定してください。
	録音しようとしている音楽 CD の曲を一曲以上録音したことがある。	一曲でも録音したことがある音楽 CD の場合は、自動録音されません。録音したい場合は音楽 CD を挿入して、90 ページの手順 2 から操作して録音してください。

● Bluetooth オーディオ / ハンズフリー

症状	考えられる原因	対処方法
Bluetooth 機器が登録できない。	パスキーまたは PIN コードが合っていない。	Bluetooth 対応機器によっては、パスキーまたは PIN コードが固定されている場合があります。Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの取扱説明書にパスキーまたは PIN コードが記載されている場合は、そのコードを設定してください。(→ P.122) 記載されていない場合は「0000」を試してください。
	登録機器情報が一致しない。	本機と Bluetooth 機器の両方の登録機器情報を一度削除してから、再度登録しなおしてください。
	本機の登録機器情報のみ削除した。	
Bluetooth オーディオプレーヤーの音が途切れる。	本機と Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの距離が遠すぎる。	Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを本機に近づけてください。
	他の Bluetooth 機器が通信を妨げている。	他の Bluetooth 機器の電源をオフにしてください。または、他の Bluetooth 機器を遠ざけてください。
	他の Bluetooth 機器と通信中です。または、他のプロファイルで通信中です。	たとえば、電話帳の登録中などには、音声が入切れる場合があります。
ハンズフリー通話の受話が小さい。	音量調整が小さくなっている。	通話中に調整してください。
電話帳が登録できない。	Bluetooth 機器の「連絡先の共有」設定がオフになっている。	Bluetooth 対応機器の Bluetooth 設定にある「連絡先の共有」設定をオンにしてください。設定方法については Bluetooth 対応機器の取扱説明書を参照して下さい。

メッセージ

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

● 共通

メッセージ	対処
システムの起動ができませんでした。 Honda 販売店にお問い合わせください。	Honda 販売店にご相談ください。
スピーカー配線に異常があります。接続を確認してください。	Honda 販売店にご相談ください。
スピーカー配線に異常があります。接続を確認してください。 問題が解消されない場合は Honda 販売店にお問い合わせください。	Honda 販売店にご相談ください。
地デジアンテナに異常があります。接続を確認してください。	Honda 販売店にご相談ください。
GPS アンテナに異常があります。接続を確認してください。	Honda 販売店にご相談ください。
車速パルスに異常があります。接続を確認してください。 問題が解消されない場合は Honda 販売店にお問い合わせください。	Honda 販売店にご相談ください。
カメラとの接続を確認してください。	Honda 販売店にご相談ください。
カメラ映像を表示できません。	Honda 販売店にご相談ください。
カメラエーミングを実施してください。	Honda 販売店にご相談ください。
リアカメラ de あんしん プラスが使用できません。 リアカメラを拭いてください。	カメラが汚れています。乾布などでレンズ部を傷を付けないように拭いてください。

メッセージ	対処
暗証番号が違います。忘れた場合は、Honda 販売店にお問い合わせください。〇〇回失敗。	正しい暗証番号を入力してください。「〇〇」は誤入力を行った回数です。最大 10 回まで入力可能です。暗証番号を思い出せない場合は、Honda 販売店にご相談ください。
規定回数以上コード入力を間違えたため入力できません。忘れた場合は、Honda 販売店にお問い合わせください。入力可能まで残り〇〇分。	入力操作がロックされた状態です。「〇〇」分経過後に正しい暗証番号を入力してください。暗証番号を思い出せない場合は、Honda 販売店にご相談ください。
ステアリングリモコンキーの機能登録ができませんでした。	Honda 販売店にご相談ください。
SD カードのフォーマットができませんでした。	SD カードが正しく入っているかを確認してください。他の SD カードを使用しても問題が解決されない場合は、Honda 販売店にご相談ください。

● ナビ

メッセージ	対処
ルートを探索できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ● ルート案内できない地点を「目的地」「経由地」にしています。 ● 探索条件を「一般優先」以外にしてください。

● VICS

メッセージ	対処
電波が弱いかわ周波数が違うため、VICS 情報を受信できません。	受信周波数を切り替えてください。または VICS 放送が受信できるところに移動し、受信するまでしばらくお待ちください。

● ETC

メッセージ	対処
ETC ユニットとの接続を確認してください。	Honda 販売店にご相談ください。
ETC に異常が検出されました。販売店に連絡してください。(04)、(06)、(07)、(09)、(10)	ETC に異常が検出されました。Honda 販売店にご相談ください。
ETC カードを確認してください。(01)、(02)、(03)、(05)	<ul style="list-style-type: none"> ● 差し込まれたカードが ETC カードかどうか確認してください。 ● カードが正しい向きで差し込まれているか確認してください。 ● カードの金属端子面をきれいに拭いてから差し込んでください。問題が解決しない場合は、Honda 販売店にご相談ください。
ETC カードが挿入されていません。	<ul style="list-style-type: none"> ● ETC カードを挿入してください。 ● ETC カードを差し込み直してください。 ● 差し込まれたカードが ETC カードかどうか確認してください。
ETC ユニットがセットアップされていません。	Honda 販売店にご相談ください。
ETC ユニットのセットアップは行われませんでした。	セットアップができませんでした。Honda 販売店にご相談ください。
ETC がご利用できません。	ETC 車線が通行できません。料金所の係員の指示に従ってください。
情報が取得できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ● 差し込まれたカードが ETC カードかどうか確認してください。 ● カード認証中です。しばらくお待ちください。 ● 問題が解決しない場合は、Honda 販売店にご相談ください。

メッセージ	対処
ETC 履歴がありません。	<ul style="list-style-type: none"> ● ETC カードに履歴情報が記録されていません。 ● 問題が解決しない場合は、Honda 販売店にご相談ください。
中断しました。	故障ではありませんので、もう一度操作してください。

● AV (共通)

メッセージ	対処
再生可能なファイルがありません。	再生対応しているオーディオ/ビデオファイルかどうかを確認してください。(→ P.210)
走行中は音声のみお楽しみください。	走行中は映像を見ることができません。
音声は再生できません。	音声は再生できない動画ファイルです。
ファイルが再生できません。	再生できないファイルです。再生可能な次のファイルへスキップします。

● AV(Disc)

メッセージ	対処
ディスクが読めません。	読み込み不可のディスクを再生しようとしています。再生可能なディスクを挿入してください。
再生できないリージョンコードのディスクです。	ディスクのリージョンコードを確認してください。リージョンコード「2」(または 2 を含むもの)と「ALL」のディスクが再生できます。
ディスクがローディングできません。 / ディスクがイジェクトできません。	強制イジェクトを実行してください。(→ P.78) または、Honda 販売店にご相談ください。
録音可能なアルバムの上限を超えています。	録音できるアルバムは最大 999 枚までです。不要なアルバムを削除してから録音してください。
録音を続行できないため、録音を中断しました。	再度録音しなおしてください。
空き容量不足のため、これ以上録音できません。	不要な楽曲、または不要なファイルを削除してから録音してください。残り録音可能時間は、録音設定画面で確認できます。

● AV(地デジ)

メッセージ	対処
この受信機ではご覧になることができません。Honda 販売店にお問い合わせください。	Honda 販売店にご相談ください。
ご覧のチャンネルのサービス構成が変更されました。ホーム及びお出かけモードのプリセット番号を全て削除します。再度初期スキャンを実施してください。	[閉じる] ボタンをタッチした後、初期スキャンを再度行ってください。

● AV(USB)

メッセージ	対処
非対応デバイスが接続されました。	本機で再生できないデバイスが接続されました。209 ページの「本機で再生できる USB 機器」をご覧ください。
USB Hub の接続には対応していません。	本機は、USB ハブを介して接続した機器を再生することはできません。

● AV(iPod)

メッセージ	対処
非対応デバイスが接続されました。	本機でコントロールできない iPod が接続されました。212 ページの「本機でコントロールできる iPod について」をご覧ください。

● internavi

メッセージ	対処
認証に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「登録完了のご案内」を確認して、再度パスワード（暗証番号）を正しく入力してください。 ● パスワード（暗証番号）を正しく入力してもメッセージが表示される場合は、「会員 ID（フレーム No.）とパスワード（暗証番号）の入力」（→ P.132）を参照しフレーム No. が正しく登録されていることを確認して、未入力あるいは間違っ て入力されていた場合は修正してください。（フレーム No. は AB1-1001234 のような形式です。アルファベットが大文字であることをご確認ください）。それでも接続できない場合は、Honda 販売店または Honda Total Care コールセンターへお問い合わせください。
フレーム No. が正しく入力されていません。 internavi システム設定のフレーム No. 設定が必要です。	
USB 通信機器の接続先を確認してください。	「リンクアップフリー専用通信機器について」（→ P.131）を参照して、専用通信機器を正しく接続してください。
USB 通信機器が切断されました。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「リンクアップフリー専用通信機器について」（→ P.131）を参照して、専用通信機器を正しく接続してください。
ただいま接続できません。	<ul style="list-style-type: none"> ● Honda 販売店にお問い合わせください。
情報の取得に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> ● 再度操作を行ってください。
情報を取得できません。	<ul style="list-style-type: none"> ● 通信圏内に移動して操作してください。
サーバが混み合っています。	しばらくしてからインターナビ情報を取得してください。
サーバが停止しています。	しばらくしてからインターナビ情報を取得してください。
サーバエラーのため情報を取得できません。 少し時間をおいてから、再度実行してください。	しばらくしてからインターナビ情報を取得してください。

● ドライブレコーダー

メッセージ	対処
ドライブレコーダーにSDカードが挿入されていません。SDカードを挿入してください。	ドライブレコーダーに microSD カードを正しく入っているかを確認してください。入っていない場合は、microSD カードを入れてください。
保存フォルダへ移動できませんでした。ドライブレコーダーのSDカード内の不要な動画を削除してください。	保存フォルダに移動できるのは20ファイルまでです。保存フォルダ内の不要な動画を削除してください。削除については、DRH-189Nの場合は163ページをDRH-204VDの場合は169ページをご覧ください。
このファイルは対応していないファイルのため、再生できません。	接続しているドライブレコーダー以外で録画したデータは再生できません。接続しているドライブレコーダー専用のmicroSDカードを入れてください。
SDカードのフォーマットができませんでした。ドライブレコーダーのSDカードを確認してください。	ドライブレコーダーのmicroSDカードをもう一度フォーマットしてください。それでもフォーマットできない場合は、Honda販売店にご相談ください。
ドライブレコーダーが動作できません。	Honda販売店にご相談ください。
ドライブレコーダーのSDカードの交換時期になりました。新しいSDカードへの交換をお勧めします。	ドライブレコーダーに入れているmicroSDカードの寿命が近づいているので、新しいmicroSDカードに交換してください。microSDカードが無い場合は、Honda販売店で接続しているドライブレコーダー専用のmicroSDカードをお買い求めください。
ドライブレコーダーに非対応のSDカードが挿入されています。必ず付属のSDカードをご使用ください。	必ずドライブレコーダー付属のmicroSDカードをご使用ください。microSDカードが無い場合は、Honda販売店で、接続しているドライブレコーダー専用のmicroSDカードをお買い求めください。
ドライブレコーダーのSDカードが取り出されました。ファイルが壊れる可能性がありますのでSDカードを抜く場合は取出しボタンを押してから取り出してください。	ファイルが壊れる可能性があるため、「ドライブレコーダーからmicroSDカードを取り出す」の操作を行ってから取り出してください。DRH-189Nの場合は165ページをDRH-204VDの場合は171ページをご覧ください。
SDカードの容量が不足しています。これ以上静止画の撮影ができませんのでSDカード内の不要な静止画を削除してください。*	不要な静止画を削除してください。削除については、163ページをご覧ください。

*DRH-189N 接続時のみ

主な仕様

● ナビゲーション部

アンテナ方式	マイクロストリップ平面アンテナ
受信方式	GPS(+MSAS) & QZSS
受信周波数	1575.42MHz (C/A コード)
追従衛星数	最大 16
受信感度	-145dBm
位置更新時間	0.25 秒
VICS	FM 多重 (内蔵)、ETC2.0 対応 (別売)

● モニター部

種類	液晶カラーモニター
画面サイズ (幅×高さ×対角)	7.0V型ワイド (156.6 × 81.6 × 176.6 mm)
表示方式	透過TN型
駆動方式	TFTアクティブマトリクス
画素数	1,152,000個 800H×RGB×480V
画素配列	RGBストライプ配列
タッチパネル	静電容量方式タッチパネル
使用光源 (照明方式)	LEDバックライト方式

● オーディオ部

最大出力	50W × 4
スピーカーインピーダンス	4 ~ 8 Ω

● 地上デジタルチューナー部

受信方式	地上デジタルテレビ放送方式 (日本) (ワンセグ対応)
受信チャンネル	UHF13 ~ 52ch

● チューナー部

FM受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0MHz~99.0MHz (0.1MHz)
AM受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522kHz~1629kHz (9kHz)
実用感度	FM 15dB AM 37dB
S/N比	FM 55dB(30kHz L.P.F.使用) AM 50dB(30kHz L.P.F.使用)
ステレオセパレーション	FM 30dB(30kHz L.P.F.使用)
歪率	FM 0.3% AM 0.5%

● USB I/F 部

対応 USB	USB1.1/2.0
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT
最大供給電流	DC5V ≒ 1A

● SD カード部

対応 SD	SD/SDHC/SDXC
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT

● DVD/CD 部

信号方式	NTSC
対応ディスク	DVD-Video, DVD ± R/ ± RW/ ± R DL, CD-DA, CD-R/-RW, SACD (CD LAYER ONLY)
リージョン番号	2
サンプリング周波数	44.1kHz/48kHz/96kHz
周波数特性	20 ~ 20,000Hz
量子化ビット数	16/20/24bit (直線)
S/N 比	96dB
高調波ひずみ率	0.1%以下 (1kHz)
ダイナミックレンジ	94dB
ステレオセパレーション	90dB

● 対応メディア

DVD-Video	DVD-R,DVD-RWはVRモードも対応
CD-DA	8cmCD 非対応
DVD/CD	音声 MP3, WMA, AAC, WAV, FLAC, Vorbis
USB/ SD	音声 MP3, WMA, AAC, FLAC, WAV, Vorbis
	映像 MPEG-4 Video, H.264/MPEG-4 AVC, WMV

● Bluetooth 部

対応プロファイル	HFP, PBAP, A2DP, AVRCP, SPP
対応コーデック	SBC/AAC
SCMS-T	対応

● 電源 / 寸法 / 重量

電源電圧	13.2V (10.0V ~ 16.0V)
消費電流	約 3.0A (CD 再生出力 1W 時)
使用温度範囲	-30°C ~ +70°C
本体	外形寸法 (W × H × D) 191mm × 111.5mm × 181mm
	埋込寸法 (W × H × D) 180mm × 100mm × 158mm
	質量 (重さ) 2.56 kg
GPS アンテナ	外形寸法 (W × H × D) 33mm × 12.8mm × 36mm
	ケーブル長 2m
	質量 (重さ) 60g

● 入出力端子

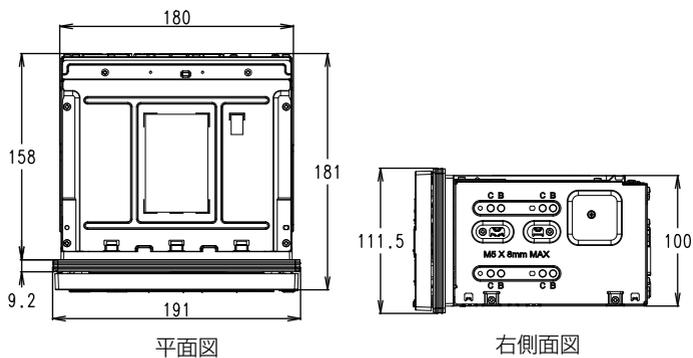
電源入力端子	24 ピン専用コネクタ
GPS アンテナ入力端子	GPS コネクタ
ラジオ入力端子 (VICS 入力端子)	3 ピン専用コネクタ (ラジオ入力端子と共用)
ETC 端子	5 ピン専用コネクタ
AUX コード接続端子	8 ピン専用コネクタ
リアカメラ接続端子	8 ピン専用コネクタ
フロントカメラ端子	7 ピン専用コネクタ
USB 端子	4 ピン専用コネクタ
車両信号入力端子	3 ピン専用コネクタ
地上デジタルテレビアンテナ入力端子	GT13 専用コネクタ
LUF 入力端子	4 ピン専用コネクタ
ETC2.0 接続端子	4 ピン専用コネクタ
車両通信接続端子	20 ピン専用コネクタ
ドライブレコーダー接続端子	12 ピン専用コネクタ

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

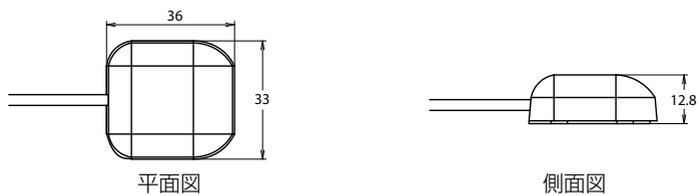
構成内容

外形寸法図 (単位: mm)

本体



GPS アンテナ



保証とアフターサービス

保証について

- 保証書に記載された「販売会社印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- 調子が悪いとき
まず、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いとき
保証規定に従い修理させていただきますのでお買い上げの販売会社に修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品
製造打ち切り後、最低 6 年間保有しています。

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めの販売店へご相談ください。

「タウンページ」は、NTT 東日本および NTT 西日本の登録商標です。

「Microsoft」、「Windows」、「Windows NT」、「Windows Media」は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国や地域における登録商標または商標です。

Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Dolby Audio and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.

DVD is a trademark of DVD format/Logo Licensing Corporation registered in the U. S. Japan and other countries.

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

Apple, iPhone, iPod, iPod nano, iPod touch, iTunes, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.

本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

SDXC ロゴは SD-3C LLC の商標です。

VICS は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

「NaviCon」は株式会社デンソーの登録商標です。

本製品には、株式会社コピキタスが開発した高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot™」を搭載しております。「Ubiquitous QuickBoot™」は、株式会社コピキタスの商標です。

Copyright© 2020 Ubiquitous Corp. All rights reserved.



本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。



「ETC」、「ETC2.0」は一般財団法人 ITS サービス高度化機構の登録商標です。

ITS スポットは国土交通省の登録商標です。

日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)の compact Wnn を使用しています。compact Wnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2012-2017 All Rights Reserved.

Bluetooth® とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC. の登録商標で、株式会社 JVC ケンウッドはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

本ソフトウェアは、株式会社日立製作所の音声合成技術を使用しています。「Ruby Talk」は株式会社日立超 LSI システムズの登録商標です。



Gracenote、Gracenote ロゴとロゴタイプ、「Powered by Gracenote」ロゴは米国およびその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。

「WALKMAN」は、ソニー株式会社の登録商標です。

libFLAC

Copyright (C) 2000-2009 Josh Coalson
Copyright (C) 2011-2013 Xiph.Org Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND ONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD ("VC-1 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE VC-1 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE VC-1 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

libogg

Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

libvorbis

Copyright (c) 2002-2008 Xiph.org Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

A	AM/FM..... 72	オープニング画像..... 29
	AUDIO メニュー画面..... 69	オプションボタン..... 116
	AV 画面..... 69	音声案内について..... 56
		音声案内の音量..... 106
B		か
Bluetooth オーディオ機器の再生..... 130		外形寸法図..... 230
E		外部機器..... 77
ETC 車載器..... 157		画質を調整..... 70
ETC レーン表示..... 59		画面の明るさ..... 30
I		画面のオン/オフ..... 31
internavi 設定..... 150		画面の操作..... 25
internavi ルート..... 50		画面をカスタマイズ..... 28
iPod の接続 / 取り外し..... 86		き
M		緊急サポート..... 154
Music Rack..... 89		け
P		経由地の削除..... 60
PIN コード..... 122		経由地の順番変更..... 60
T		経由地を追加..... 59
TV を視聴する..... 74		現在地図画面..... 33
U		現在地の修正..... 108
USB 機器の接続 / 取り外し..... 84		検索履歴の削除..... 44
V		こ
VICS 情報..... 100		交差点案内図の表示..... 58
あ		後退出庫サポート..... 185, 188, 192
アスペクト (画面表示サイズ)..... 70		高速道分岐イラストの表示..... 58
案内を開始する..... 50		高速道路でのルート案内..... 55
案内を中止する..... 63		後退駐車サポート..... 191, 195
い		交通情報..... 73
インターナビ..... 14		後方死角サポート..... 186, 190, 195
お		後方車両お知らせ..... 196
オートベアリング..... 120		さ
オートリルート..... 63		再生できるオーディオ / ビデオフォーマット..... 210
		再生できるディスクメディア..... 208
		サウンド設定..... 109
		し
		システム設定..... 113
		自宅に帰る..... 38, 40
		自宅の登録..... 37
		車線キープサポート..... 187, 191
		ジャンル検索..... 42, 46
		住所検索..... 43

渋滞を配慮したオートリルート	51
情報メニュー	99
ショートカット機能	32
初期スキャン (TV)	75

す

ステアリングリモコン	180
------------------	-----

せ

セキュリティインジケータ	116
セキュリティ機能	116
セキュリティコード	116
設定メニュー	99

そ

走行軌跡の表示	108
走行軌跡を消去	108
操作音の出力	114
ソースレベル	112
ソースを切り替える	69

た

ダイナミックレンジコントロール (DVD)	83
-----------------------------	----

ち

地図データ更新サービス	155
地図の縮尺	34
地図表示の設定	107
地点登録	64

て

ディスクの出し入れ	78
電源オン/オフ	22
電話帳	127, 128
電話番号検索	43
電話をかける	125, 127, 129

と

登録機器の削除 (Bluetooth)	122
登録地点検索	45
登録地点の編集	65, 66
ドライブレコーダー	160, 166

な

ナビ設定	105
------------	-----

は

パーキングセンサー	178
バージョン情報	117
ハイウェイモード画面	55

ハンズフリー通話	124
----------------	-----

ふ

フライビューマップ表示	105
フロントカメラ	172

ほ

方面看板	106
------------	-----

め

メッセージ	223
-------------	-----

も

目的地の削除	60
目的地付近の地図表示	63
目的地メニュー	40
文字の入力	67

ゆ

ユーザーコライザー	112
-----------------	-----

ら

ラジオ	72
-----------	----

り

リアカメラ	175
リアカメラ de あんしんプラス	184
リアカメラ de あんしんプラス 2	188
リアカメラ de あんしんプラス 3	192
履歴検索	44
リンクアップフリー	131

る

ルート案内の開始	50
ルート案内の中止	63
ルート学習	51
ルートの再探索	53

ろ

録音	89
録音設定	89
録音停止	90
録音データの再生	91
録音データの削除	95